
マイティ通信販売 インストールマニュアル

マイティ通信販売をご利用いただくために、お使いのパソコンへソフトウェアをインストールする手順を説明します。

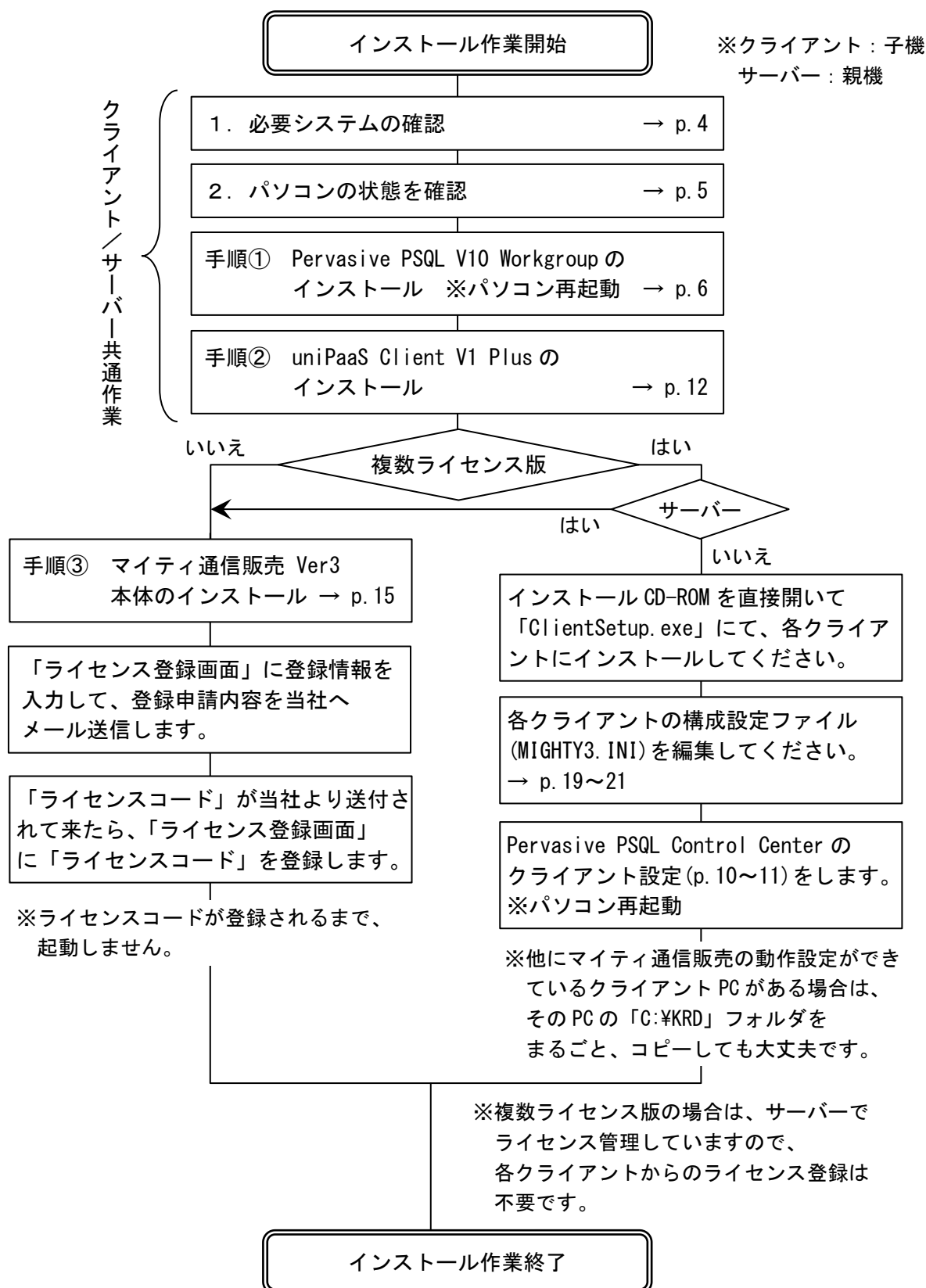
2019 年 10 月 7 日

目 次

インストール	2p
作業の流れ	3p
1. 必要システムの確認	4p
2. パソコンの状態を確認	5p
インストール手順	6p
手順① Pervasive PSQL V10 Workgroup のインストール	6p
手順② uniPaaS V1 Plus のインストール	12p
手順③ マイティ通信販売 本体のインストール	15p
手順④ マイティ通信販売の起動の準備	17p
1. ショートカットアイコンのプロパティ設定	18p
2. 構成設定ファイル (MIGHTY3.INI) の編集	19p
3. 共有設定 (複数ライセンスご利用の場合)	22p
◇ ネットワークの共有設定	19p
● Windows10 の場合	22p
● Windows7 の場合	25p
◇ フォルダの共有設定	28p
手順⑤ マイティ通信販売のライセンス登録	33p
アンインストール	36p
作業の流れ	37p
アンインストール手順	38p
手順① Pervasive PSQL V10 Workgroup のエンジンを停止する	38p
手順② Pervasive PSQL V10 Workgroup のアンインストール	40p
手順③ uniPaaS Client V1 Plus のアンインストール	44p
手順④ マイティ通信販売 本体のアンインストール	46p

インストール

マイティ通信販売は、当マニュアルに従ってインストールを行ってください。
大まかな作業の流れは以下の図の通りとなります。



1. 必要システムの確認

マイティ通信販売をインストールする前に、必要なシステムをご確認ください。

■ 動作環境

対応OS	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows 10 (Pro/ Enterprise) ※「Microsoft Windows® 10 Home」は動作保証対象外となりますのでご注意ください。 ・ Windows 8 (Pro) ※「Windows 8」(Pro 以外)は動作保証対象外となりますのでご注意ください。 ・ Windows 7 (Professional/Ultimate) <div> ※以下の Windows 7 は 動作保証対象外となりますのでご注意ください。 「Microsoft Windows® 7 Starter」 「Microsoft Windows® 7 Home Premium」 </div> ・ Windows Server 2012/2008 ※5 ライセンス以上でご利用の場合は、サーバーが別途必要で サーバー版の Pervasive PSQL v10 Server 版も別途必要です。 ※上記OSは全て日本語版のみ対応 ※上記以外の OS では動作しません。
C P U	Intel Pentium [®] IV 2GHz 以上を推奨
メインメモリ	4GByte 以上推奨
ハードディスク	インストール時に占有するハードディスク容量約 100MB ※データ領域は別途必要。 マイティ通信販売のデータベース (Pervasive PSQL) のデータ最大領域は 全体で 256GB です。
ブラウザ	Internet Explorer 7.X 以上推奨
外部記憶装置	外付けハードディスク ※バックアップ時に利用 【ご注意ください】 マイティ通信販売のインストール先(メインドライブ)として、 外部ネットワークハードディスク (NAS) 等は、ご利用いただけませんので ご確認ください。
ディスプレイ	解像度 1280×1024 High Color (16 ビット) 以上必須
ディスクドライブ	CD-ROMドライブ必須
プリンタ	上記OSに対応したレーザープリンタ、インクジェットプリンタ。 複写式の宅配伝票を印刷する場合は、ドットインパクトプリンタが 別途必要になります。

2. パソコンの状態を確認

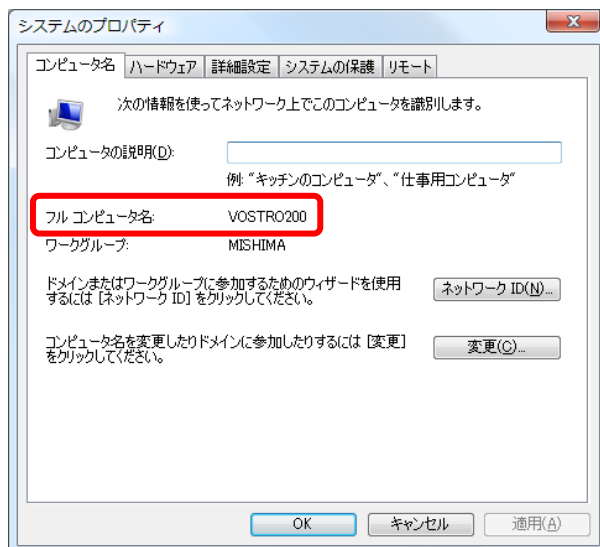
以下の注意点をご確認願います。

★インストール前に必ずご確認ください★

- (1) ネットワークで、複数ライセンス版のマイティ通信販売を利用される場合、サーバー機または、サーバーとするパソコンにて共有したフォルダ内のファイルが、クライアントパソコンから読み書きできる状態でないと正しく動作しません。

★詳細は、「マイティ通信販売を複数パソコンでのネットワーク共有する手順」をご参照ください。

- (2) サーバーの、クライアントパソコンともに、コンピュータ名(フルコンピュータ名)に、漢字、カナなどの全角文字、機種依存文字、記号を使用しないでください。
必ず半角アルファベットおよび、半角数字2文字以上で指定してください。



- (3) インストール後は、コンピュータ名の変更は絶対に行わないでください。
(正常に動作しなくなります)
- (4) ウイルス検索ソフト、ファイアウォール等が起動している場合、インストール中にファイアウォールのブロック確認が表示された場合は、ブロックを解除して許可してください。
- (5) 他社ソフト(ヤマト運輸 B2 Ver. 5 など)がインストールされたパソコンに、マイティ通信販売のデータベースソフト(Pervasive SQL)をインストールする場合、B2のデータベースソフト(Btrieve)のバージョン不一致で、うまく動作しない事を確認しております。データを必ずバックアップしてから、アンインストールの後、Pervasive SQL をインストールして、再度、他社ソフトをインストールし、バックアップのリカバリをする事で、同一パソコンにマイティ通信販売と共存が可能になります。B2の最新バージョン(Ver. 6. x)の場合は、何もしなくてもマイティ通信販売と同一パソコンでソフトを共存する事ができます。

マイティ通信販売をご利用いただくパソコンにシステムをインストールします。

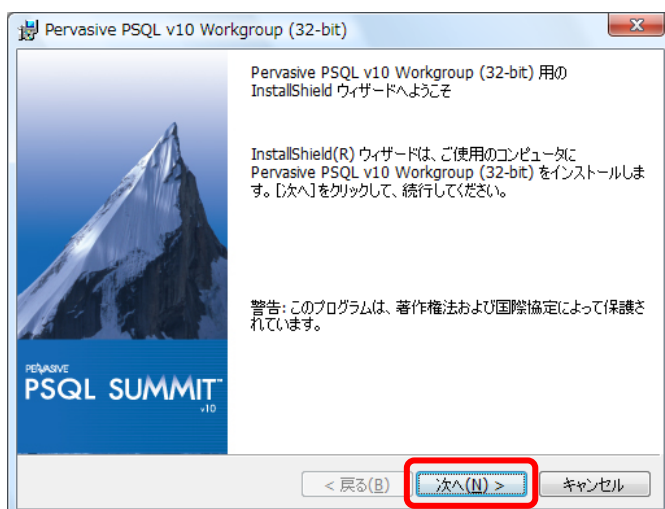
👉 インストール手順 (1 台利用、複数台での利用共通)

※複数ライセンス版をお求めの場合は、サーバー機から先にマイティ通信販売のセットアップを行ってください。

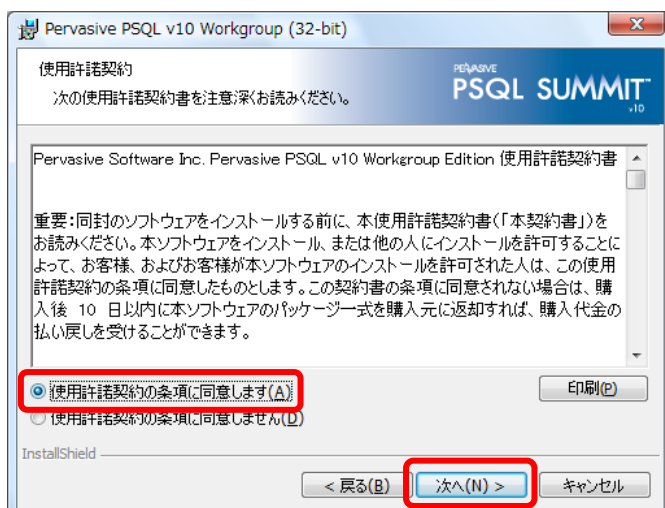
- 手順① Pervasive PSQL V10 Workgroup のインストール (DBMS : データベース管理システム)
 手順② uniPaaS V1 Plus のインストール (マイティ通信販売の実行用基本ソフト)
 手順③ マイティ通信販売 本体のインストール
 手順④ マイティ通信販売の起動の準備
 手順⑤ マイティ通信販売のライセンス登録 (ライセンス認証するまでデモ版で動作します)

手順① Pervasive PSQL V10 Workgroup のインストール

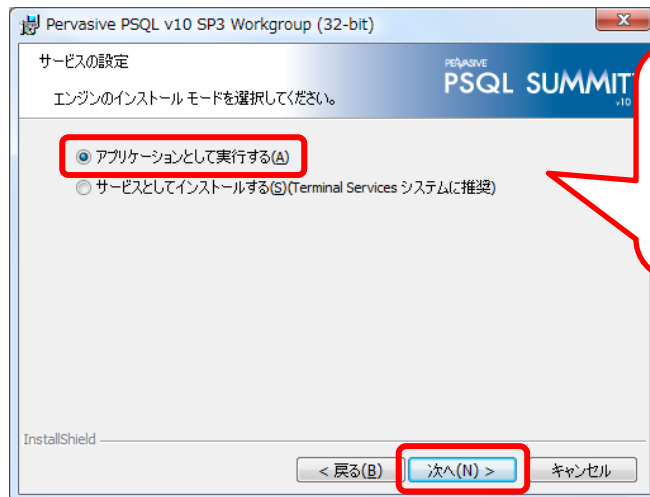
- (1) 「インストールディスク」CD 中の「PSQL_WGE」フォルダの中の「setup.exe」をダブルクリックします。
- (2) 以下の画面が表示されます。 **次へ(N)>** をクリックします。



- (3) 使用許諾契約を確認して、「☒ 使用許諾契約の条項に同意します(A)」にチェックして、**次へ(N)** をクリックします。



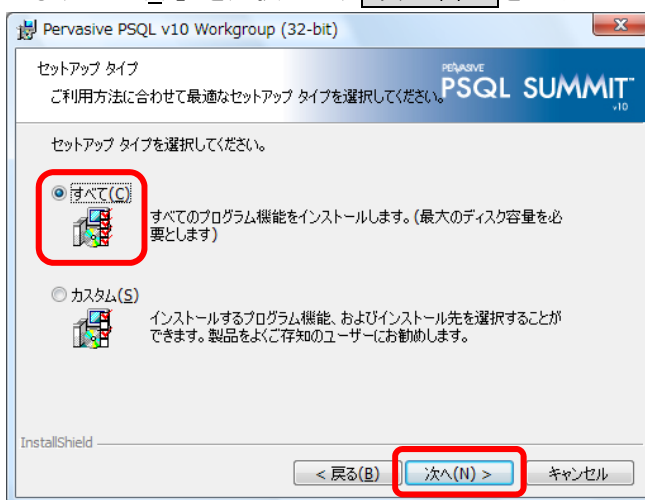
- (4) 「**Oアプリケーションとしてインストールする(A)**」を選択して、**次へ(N)>**をクリックします。



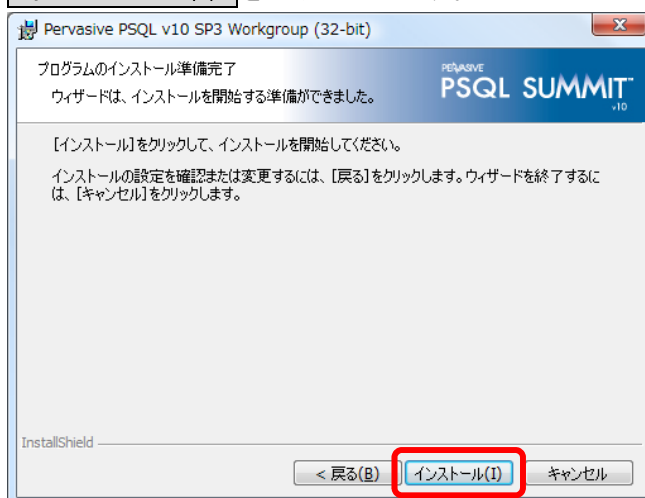
※複数台で利用場合

サーバー（親機）のみ、
「サービスとしてインストールする(S)」を
選択します。

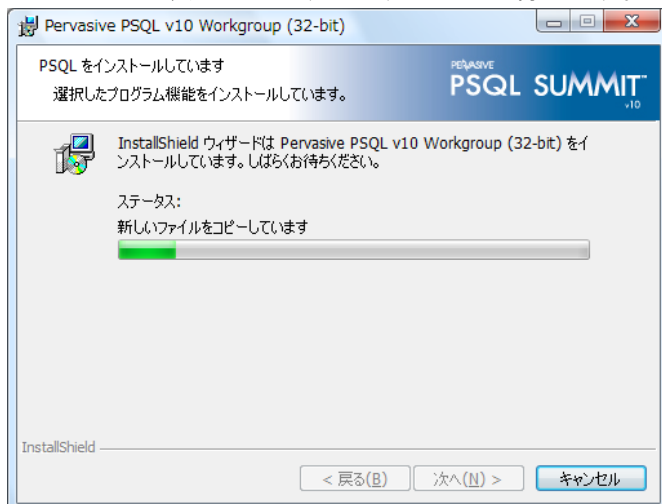
- (5) 「**Oすべて(C)**」を選択して、**次へ(N)>**をクリックします。



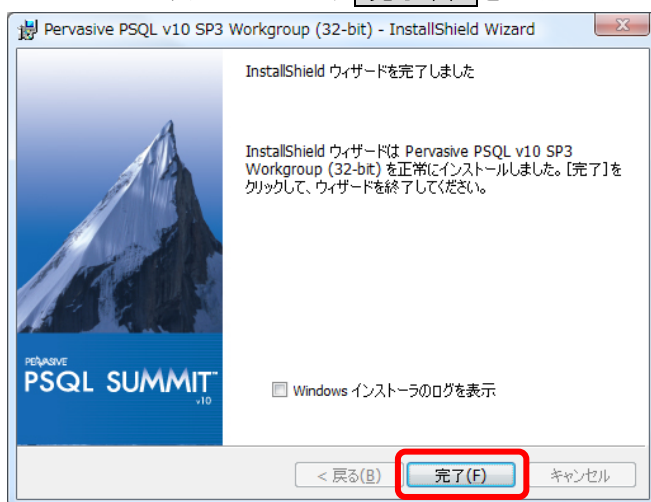
- (6) **インストール(I)**をクリックします。



(7) 以下の画面が表示されますので、しばらく待ちます。

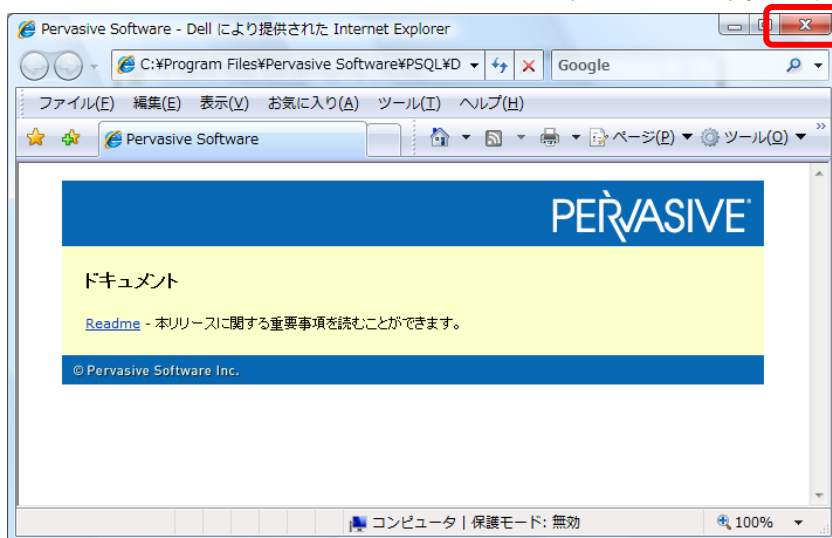


(8) 以下の画面が表示されたら、**完了(F)**をクリックします。

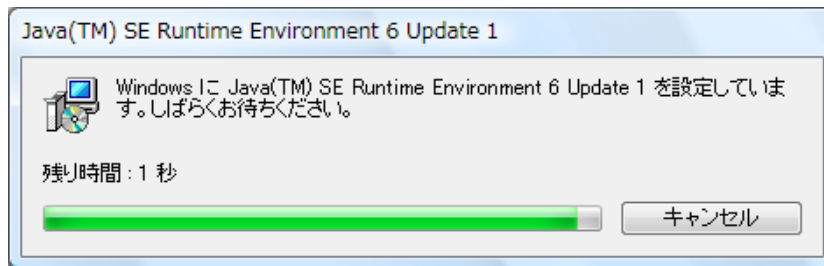


※PSQL がアクティベーション
(ライセンス認証実行可能状態)
されます。

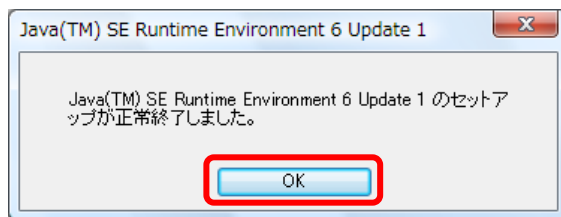
(9) インターネットエクスプローラで以下の画面が表示されたら閉じます。



- (10) 「Java SE Runtime」のインストールが必要な場合は、以下の画面の様にインストールが開始されますので、しばらく待ちます。



- (11) 「Java SE Runtime」のインストールが完了したら、以下の画面が表示されますので **OK** をクリックします。



- (12) スタンドアロン（１台利用）の場合は、以上で Pervasive PSQl のインストールは終了です。

- (13) パソコンを再起動します。

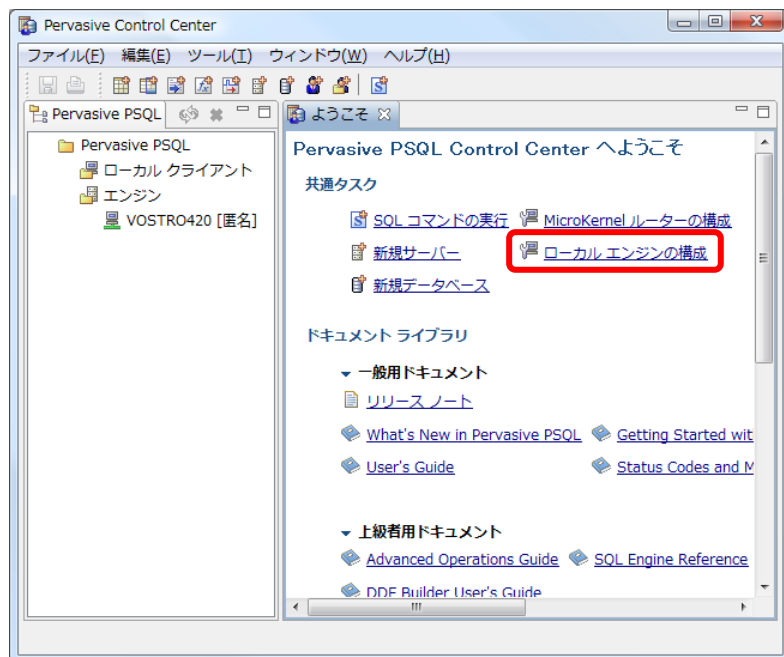
※Pervasive PSQl V10 インストール後、必ず再起動しないと正常に動作しません。

初回起動時に、Pervasive PSQl の実行プログラム(w3dbsmgr.exe)の起動を許可するかどうかをウイルス検索ソフトから質問される場合がございますが、必ず、常に起動する様に選択してください。

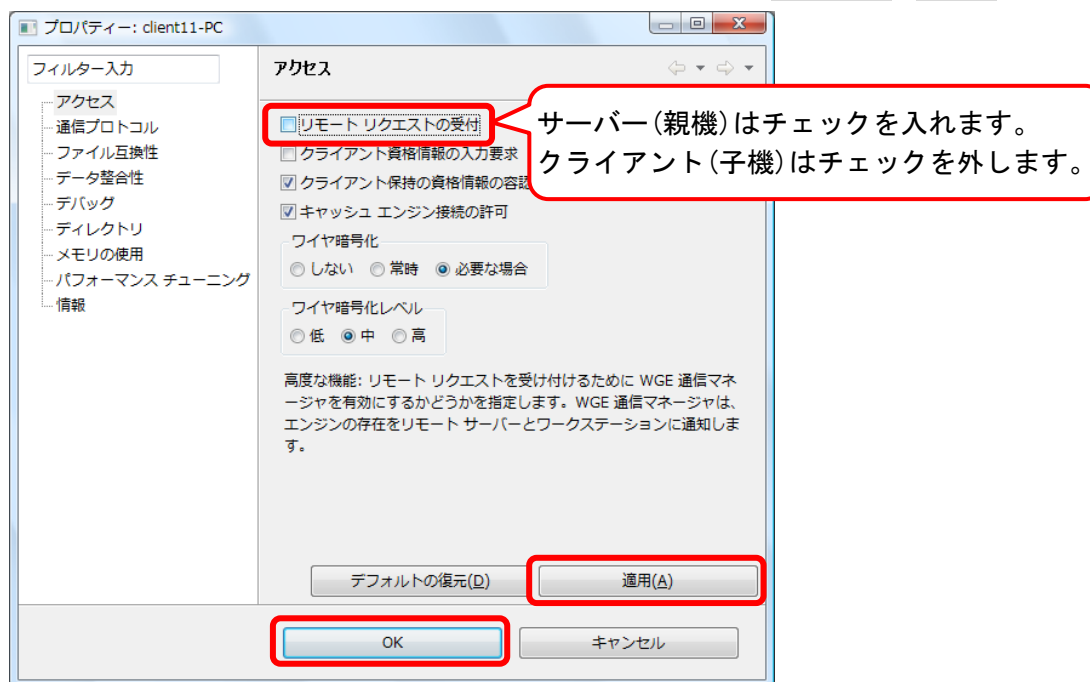
次ページ以降の Pervasive PSQl V10 のインストール作業は、複数ライセンスにてネットワーク利用される場合に、各クライアント(子機)で行ってください。サーバー側の設定変更はありません。

※１台で運用（スタンドアロン版）の場合は、
以降のページの「手順② Magic uniPaaS Client V1 Plus のインストール」に進んで、
インストールを行ってください。

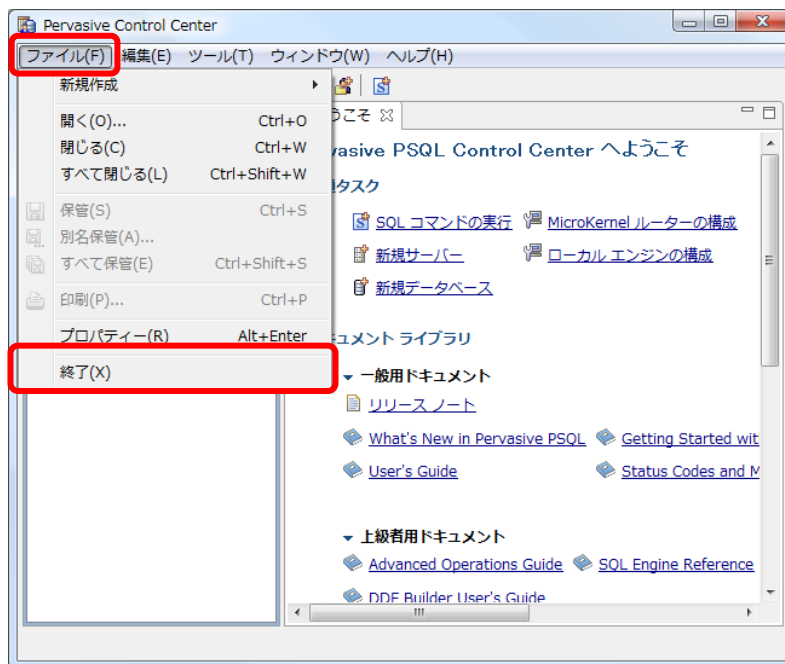
- (14) 「スタート」→「すべてのプログラム」→「Pervasive」→「PSQL10」をクリックして「Control Center および PSQL ドキュメント」を開きます。
 続いて、「ローカルエンジンの構成」をクリックします。



- (15) 「リモートリクエストの受付」のチェックを確認・変更して、**適用(A)**、**OK**をクリックします。



- (16) **ファイル(F)** → **終了(X)** をクリックして「Control Center」を終了します。

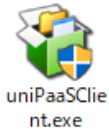


- (17) パソコンを再起動します。
 ※Pervasive PSQL V10 インストール後、必ず再起動しないと正常に動作しません。

以上で、Pervasive PSQL V10 のインストールは終了です。

手順② uniPaaS Client V1 Plus のインストール

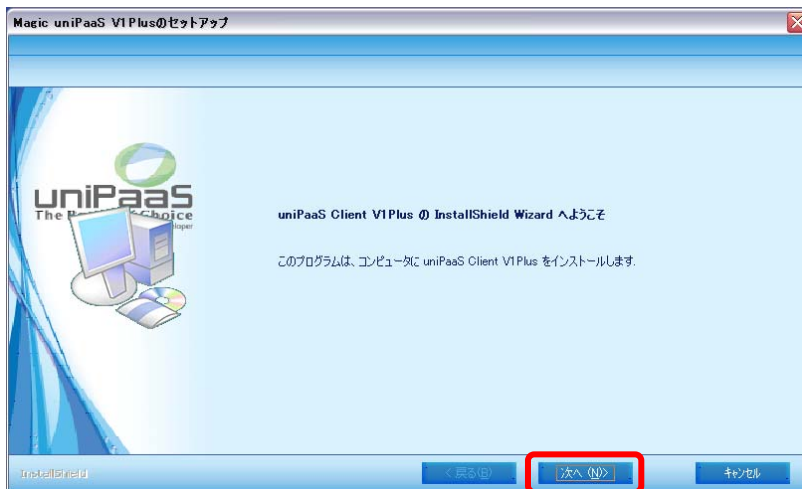
(1) CD 内の「uniPaaSClient.exe」をダブルクリックします。



(2) 「ユーザーアカウント制御」の警告画面が表示されたら、**続行(C)** をクリックします。

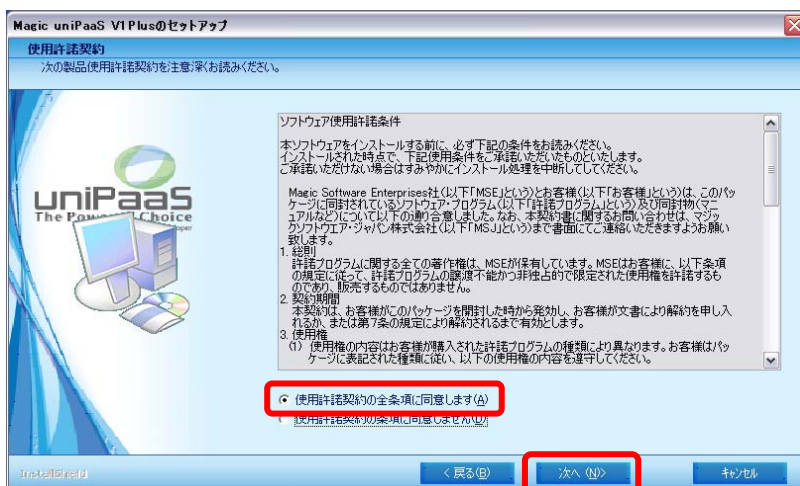
(3) 以下の画面が表示されます。


次へ(N)> をクリックすると、「uniPaaS Client V1 Plus」のインストールを開始します。

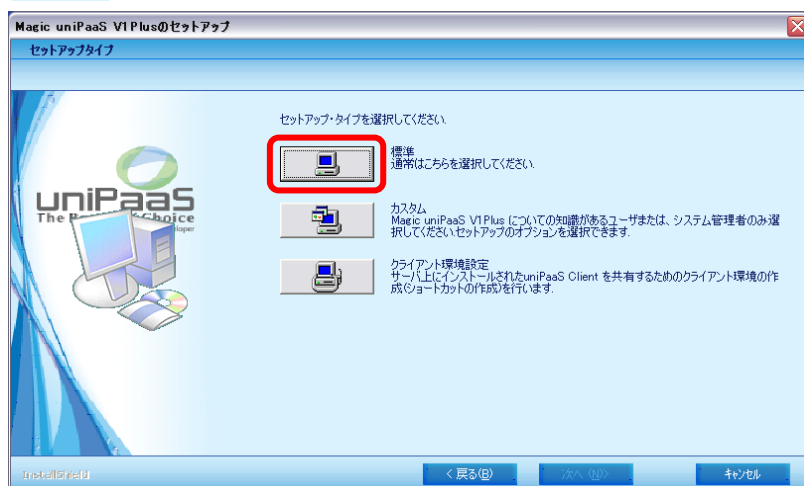


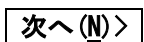
※「uniPaaS Client V1 Plus」は
「マイティ通信販売」を
実行するために
必要なソフトです。

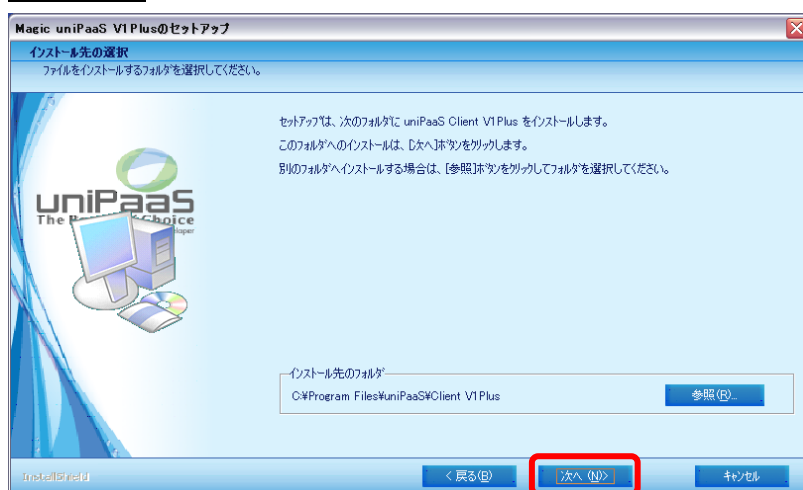
(4) 「ソフトウェア使用許諾条件」を確認して、「**○使用許諾契約の全条項に同意します(A)**」にチェックをして、**次へ(N)>** をクリックします。



- (5)  「標準」をクリックします。



- (6)  「次へ(N)>」をクリックします。



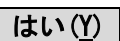
※「C:」ドライブ以外にインストールする場合、以下の作業が必要になります。

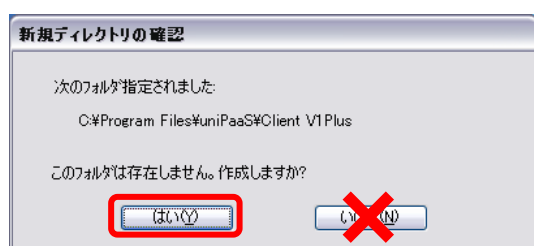
- ①マイティ通信販売の実行用設定ファイルの修正

・MIGHTY3. INI

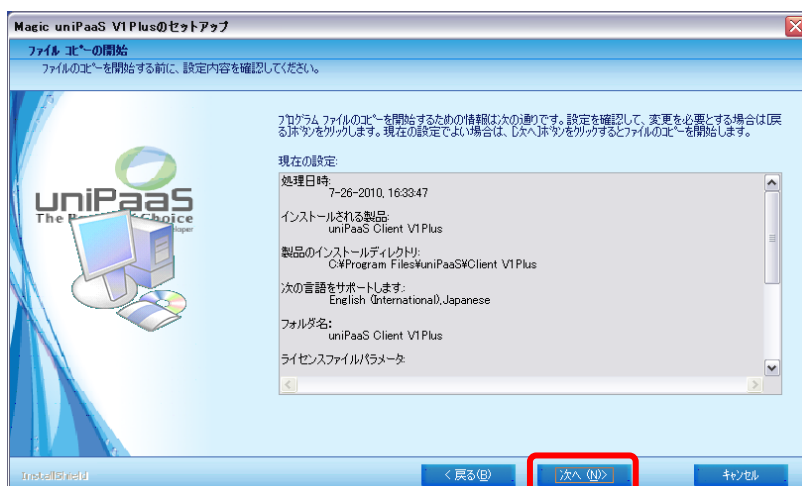
- ②実行用ショートカットアイコンのリンク先を変更

※ 詳しくは、後ほど 17 ページ「手順④ マイティ通信販売の起動の準備」をご参照ください。

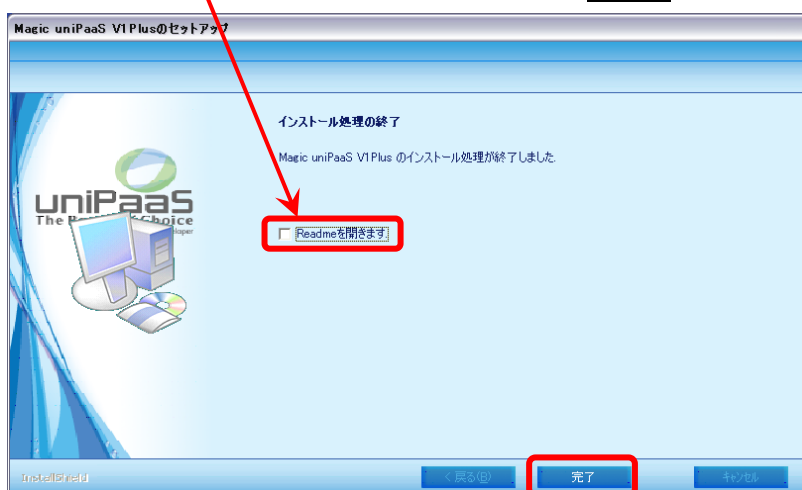
- (7)  「はい(Y)」をクリックします。



- (8) **次へ(N)>** をクリックすると、インストールが開始します。



- (9) 「☒ **Readme を開きます**」のチェックを外して、**完了** をクリックして終了です。



👉 重要！

上記作業が終了したら一度パソコンの電源を切って、必ず再起動してください。

- インストール後に、以下のアイコンがデスクトップ上にコピーされますが、不要ですので、お手数ですが削除してください。



デスクトップ上のこのアイコンは不要ですので、削除してください。

手順③ マイティ通信販売 本体のインストール

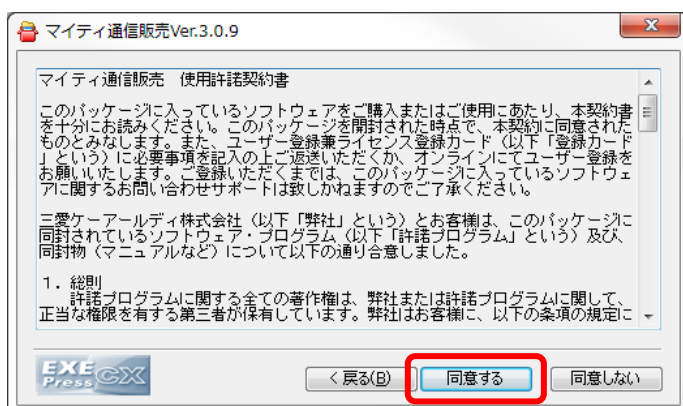
- (1) CD-ROM 内の「Mighty3Setup.exe」をダブルクリックします。



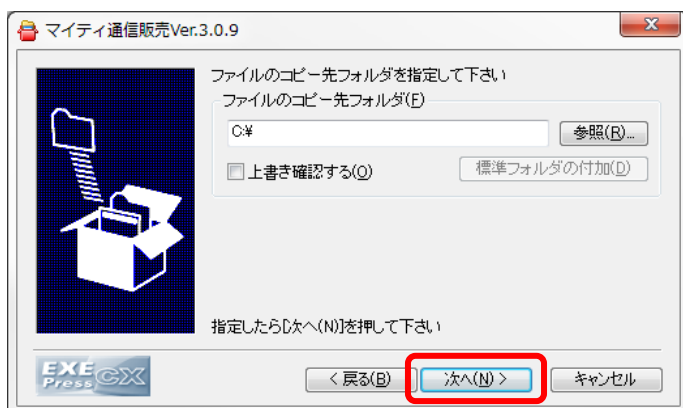
- (2) 以下の画面が表示されますので、**次へ(N)>**をクリックします。



- (3) 「マイティ通信販売 使用許諾契約書」を確認して、**同意する**をクリックします。



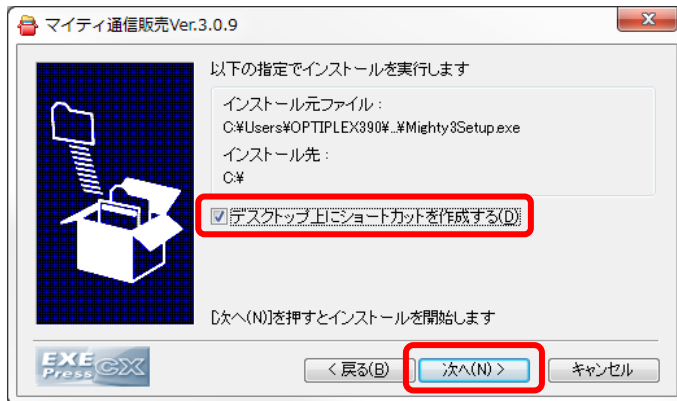
- (4) **次へ(N)>**をクリックしてください。



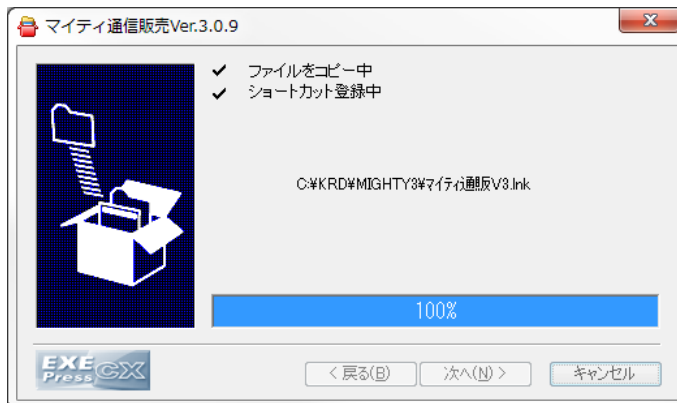
※Cドライブ以外にコピーしたい場合は、
「C:¥」をコピー先のドライブ名を
「E:¥」、「F:¥」等に変更してください。

よくわからない場合は、
コピー先のドライブを「C:¥」以外に
変更しないでください。

- (5) 「□デスクトップ上にショートカットを作成する(D)」にチェックをして、**次へ(N)>**をクリックします。



- (6) **次へ(N)>**をクリックします。



上記の画面が閉じたら、注意書き画面（メモ帳）が表示されて終了します。

手順④ マイティ通信販売の起動の準備

1. 「起動用ショートカットアイコン」を編集してください。
※すべて初期値でインストールした場合、編集の必要はありません。
2. 構成設定ファイル「MIGHTY3.INI」を編集確認してください。
※複数PCでネットワーク利用される場合は、特にご注意ください。
3. 複数PCでネットワーク利用される場合は、共有設定を行ってください。
※1台だけのご利用で、初期値のドライブをご利用の場合は、設定変更の必要はありません。
4. 「スタート」→「すべてのプログラム」→「マイティ通信販売」→「マイティ通販 V3」のアイコンをシングルクリックするか、デスクトップ上の「マイティ通販 V3」のアイコンをダブルクリックすると起動できます。



👉 起動の準備をする

マイティ通信販売は、3つのソフトウェアが連携して動作します。

- ・マイティ通信販売 本体
- ・Magic uniPaaS Client V1 Plus (マイティ通信販売の実行用基本ソフト)
- ・Pervasive SQL V10 Workgroup (DBMS : データベース管理システム)

これらソフトウェアをお客様のご利用環境に応じて「C」ドライブ以外の別ドライブにインストールすることができます。この場合、以下の作業が必要になります。

1. マイティ通信販売のショートカットアイコンのプロパティの設定を変更してください。
例えば、E ドライブにインストールする場合、下記の「C」を「E」に変更します。
※変更した場合は「MIGHTY3. INI」の修正も行ってください。

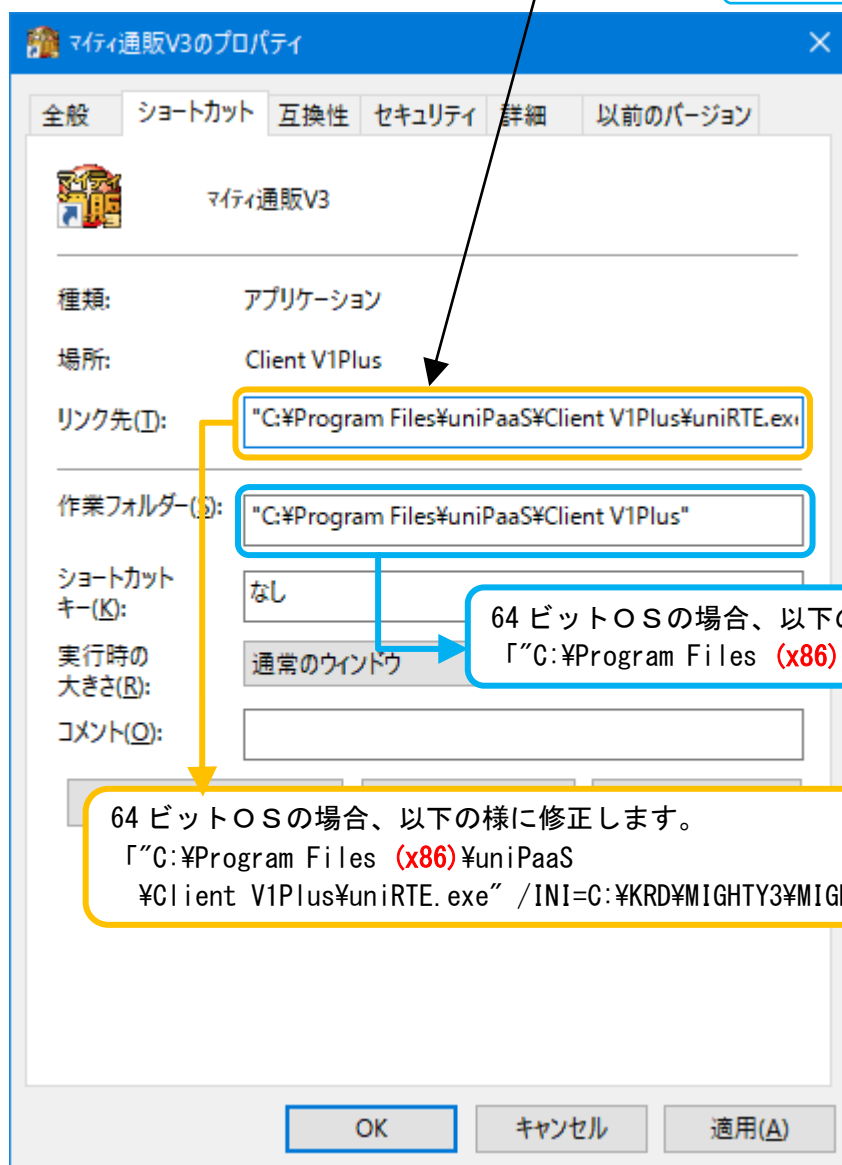


■リンク先(T)

"C:¥Program Files¥uniPaaS¥Client V1Plus ¥ uniRTE.exe" /INI=C:¥KRD¥MIGHTY3¥MIGHTY3. INI

Magic uniPaaS V1 Plus のパス

マイティ通信販売の構成設定ファイル



64 ビットOS の場合、以下の様に修正します。
「C:¥Program Files (x86)¥uniPaaS¥Client V1Plus¥uniRTE.exe" /INI=C:¥KRD¥MIGHTY3¥MIGHTY3. INI」

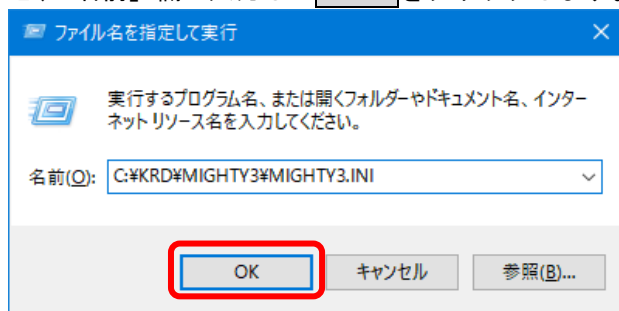
64 ビットOS の場合、以下の様に修正します。
「C:¥Program Files (x86)¥uniPaaS¥Client V1Plus¥uniRTE.exe" /INI=C:¥KRD¥MIGHTY3¥MIGHTY3. INI」

2. マイティ通信販売の構成設定ファイル（MIGHTY3. INI）を必要に応じて編集してください。

- (1) 「Windows」キー＋**R**を押下すると、「ファイル名を指定して実行」が表示されます。
Cドライブにインストールした場合

C:¥KRD¥MIGHTY3¥MIGHTY3. INI

と、「名前」欄に入力して **OK** をクリックします。



- (2) メモ帳などのテキストエディタが起動して MIGHTY3. INI の内容が表示されます

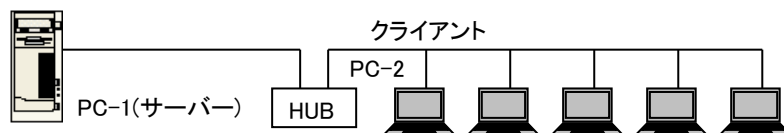


- ① マイティ通信販売のインストールドライブをCドライブから他のドライブに変更した場合は、

「MAIN = **C:**」を「MAIN = **E:**」などに書き換えます。

※ネットワーク共有したサーバーに接続する場合は「C:」を「**¥サーバー名**」に変更します。
ネットワークハードディスク (NAS 他) はご利用いただけませんのでご注意ください。

▼実際は以下のようになります。



例) PC-1 (サーバー) の KRD フォルダを PC-2 (クライアント) から共有する場合、
PC-2 側では「**¥¥PC-1**」とします。

※サーバーで共有する「KRD」フォルダは、フルコントロール(読み書き可能)で共有します。

- ② uniPaaS V1 Plus のインストールドライブをCドライブから他のドライブに変更した場合は、

「MAGIC = **C:**¥Program Files¥uniPaaS¥ Client V1Plus」を

「MAGIC = **E:**¥Program Files¥uniPaaS¥ Client V1Plus」などに書き換えます。

※64 ビットOSの場合、以下の用に修正をしていただく必要があります。

「MAGIC = **C:**¥Program Files (x86)¥uniPaaS¥Client V1Plus」
「**;**MAGIC = **C:**¥Program Files¥uniPaaS¥Client V1Plus」

64 ビットOSの場合
→下段の始めに「;」
32 ビットOSの場合
→上段の始めに「;」

- ③ ライセンスファイル名をフルパスで指定します。

出荷時は「LicenseFile = **C:**¥KRD¥MIGHTY3¥license.dat」となっていますので、インストール先を
Cドライブ以外のドライブにインストールしている場合は、ドライブ名を適宜変更してください。

- ④ パソコン番号(端末No.)を指定します。

1 台のPCで運用する場合は、初期値「11」のままにしてください。

複数台のPCで運用する場合、マイティ通信販売でパソコンを認識するために使用する、
パソコン固有の番号 (LAN 上で重複不可) を半角数字で指定します。

または、マイティ通信販売の「バージョン情報」画面の **システム情報 F10** をクリックして

PC端末No.変更 をクリックして、直接端末No.を入力変更することもできます。

(端末No.は、パソコンのIPアドレスの末尾の番号で採番する等、工夫してください。)

●注意● 端末No.は、他のPCと重複しない「**2桁以内の半角数字**」で設定してください。

- (4) メモ帳のメニューより **ファイル(F)** → **上書き保存(S)** で設定を保存して **メモ帳の終了(X)** で
メモ帳を終了します。

- (5) 上記作業が終了した後、パソコンを再起動します。

3. 複数ライセンスでご利用の場合、サーバー（親パソコン）のみ、以下の共有設定を行ってください。


◇ ネットワークの共有設定（Windows10 と Windows7、それぞれの方法を説明します）

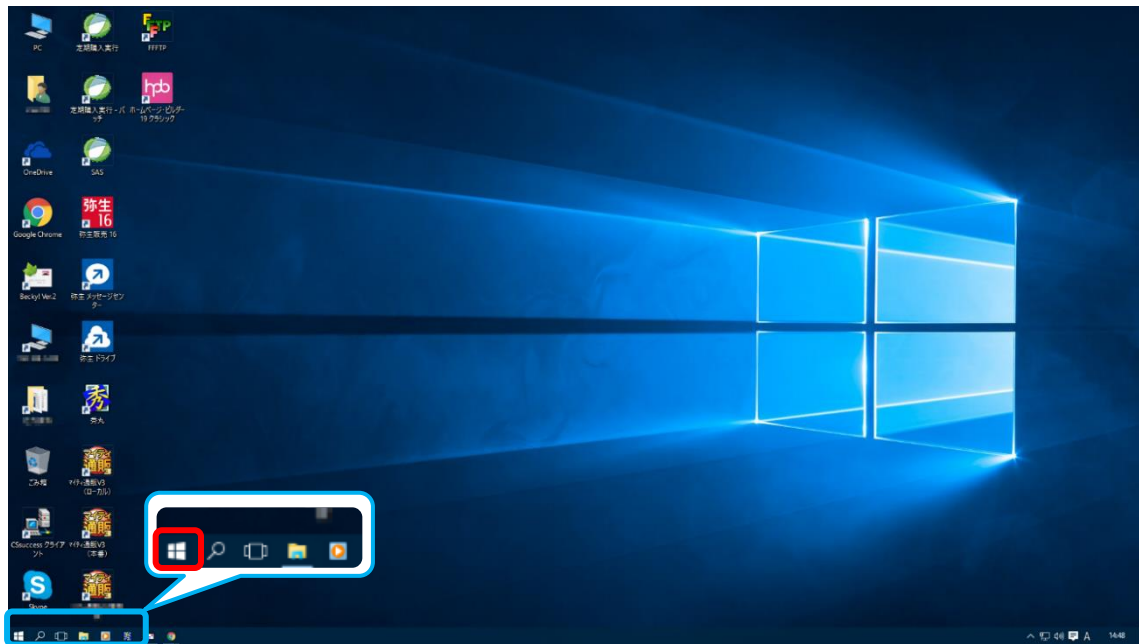
※この設定は、Windows の更新等で自動的に設定が切替わる場合があります。

都度、再設定してください。

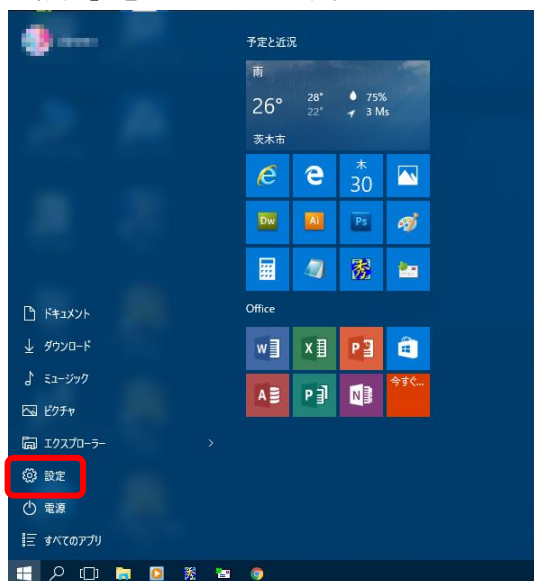
Windows10 の場合と Windows7 の場合をご紹介します。

● Windows10 の場合

(1) スタートボタン () をクリックして、スタートメニューを表示します。



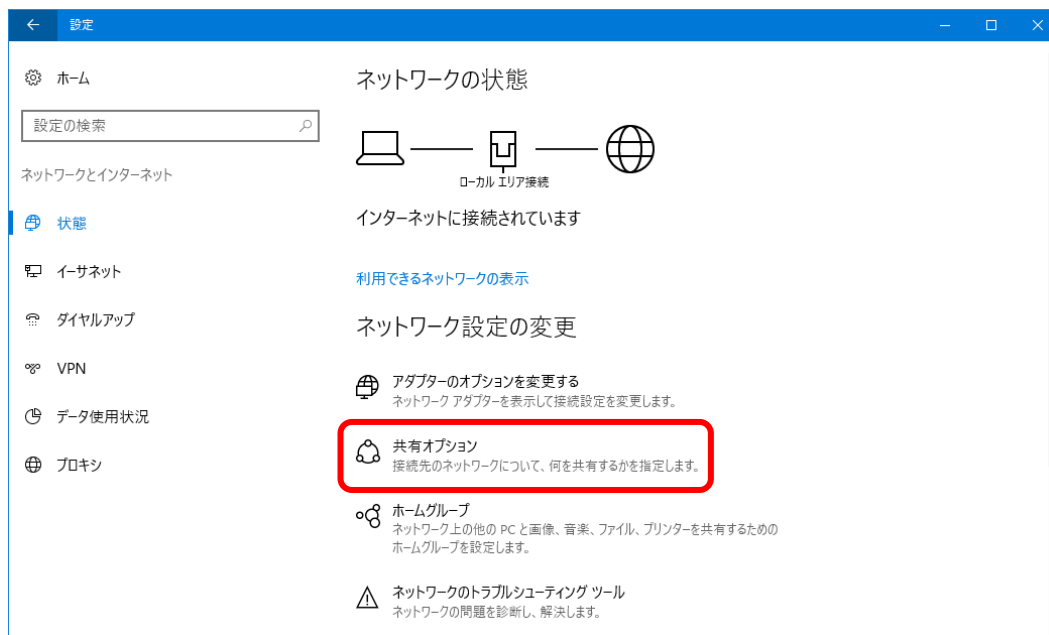
(2) 「設定」をクリックします。



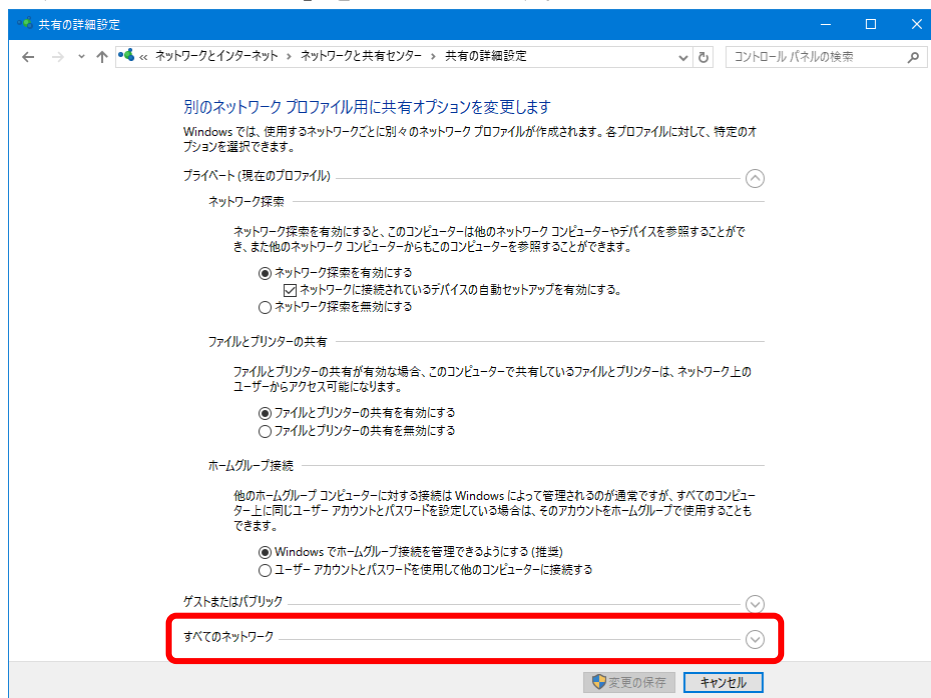
(3) 「ネットワークとインターネット」をクリックします。



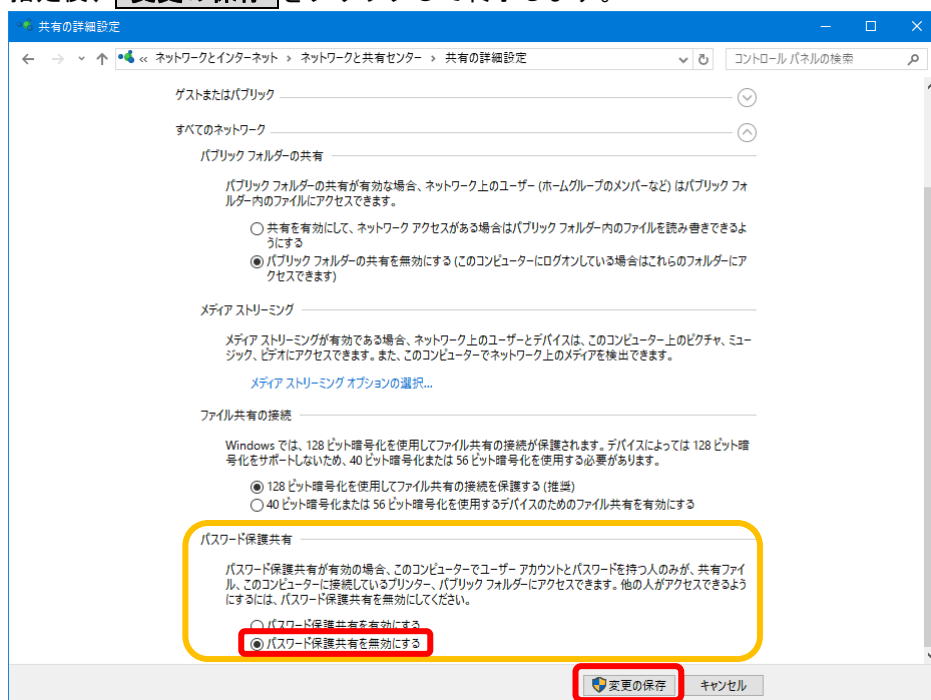
(4) 「共有オプション」をクリックします。




(5) 「すべてのネットワーク」をクリックします。

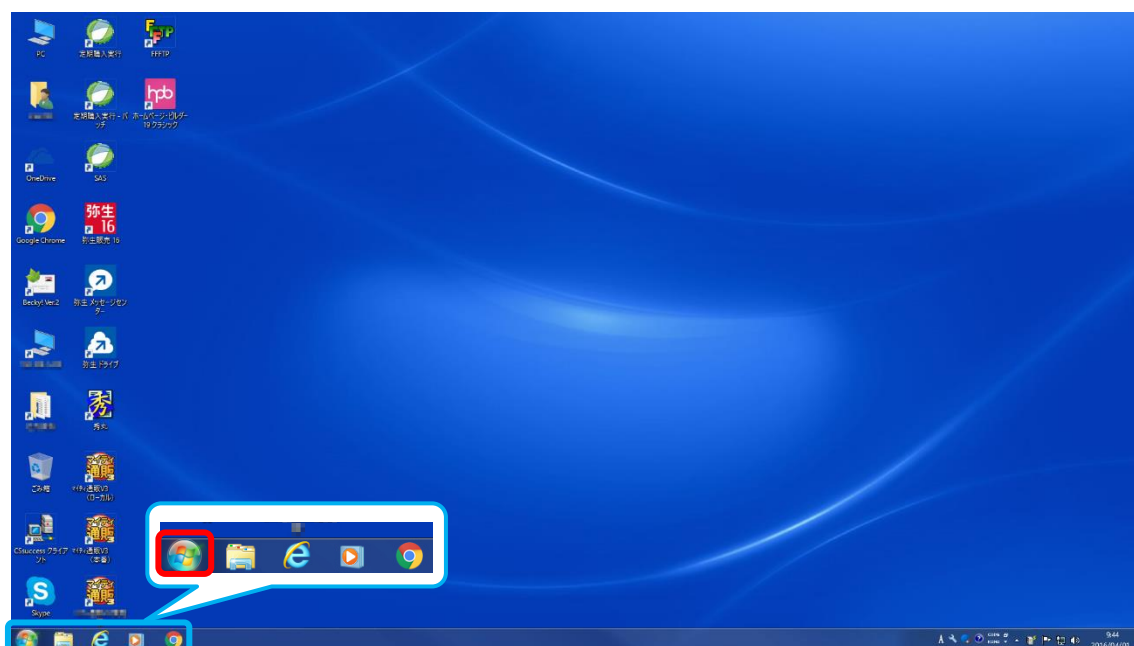


(6) 「パスワード保護共有」の「☒ パスワード保護共有を無効にする」を指定します。
指定後、**変更の保存**をクリックして終了します。

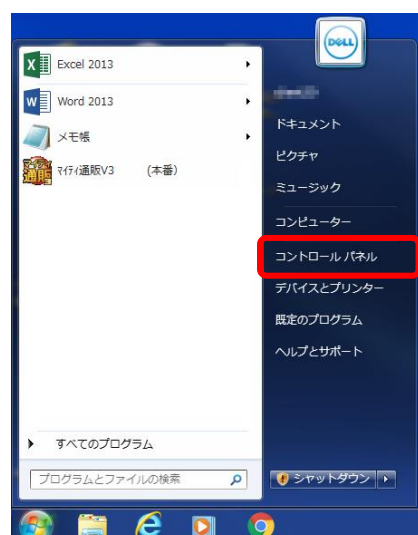


● Windows7 の場合

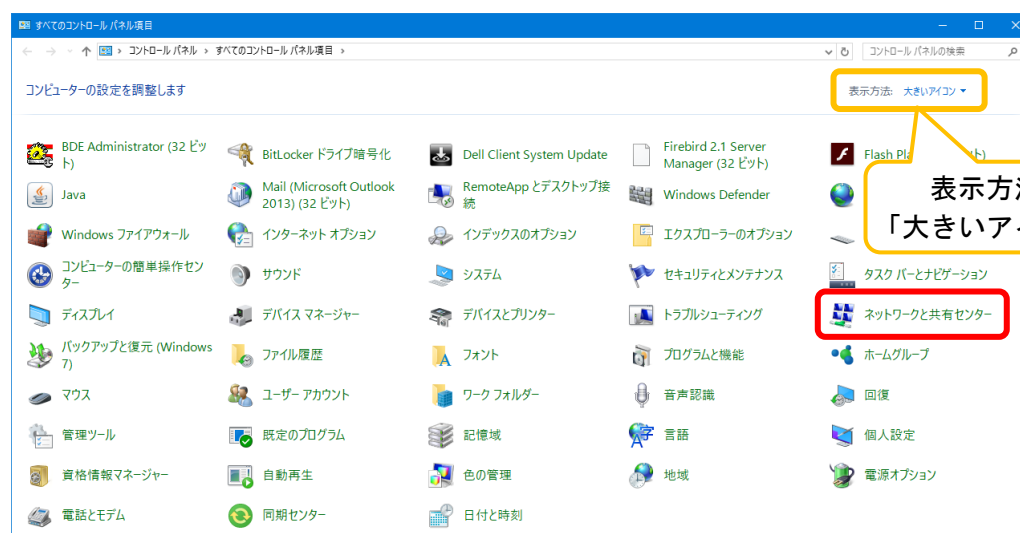
(1) スタートボタン () をクリックして、スタートメニューを表示します。



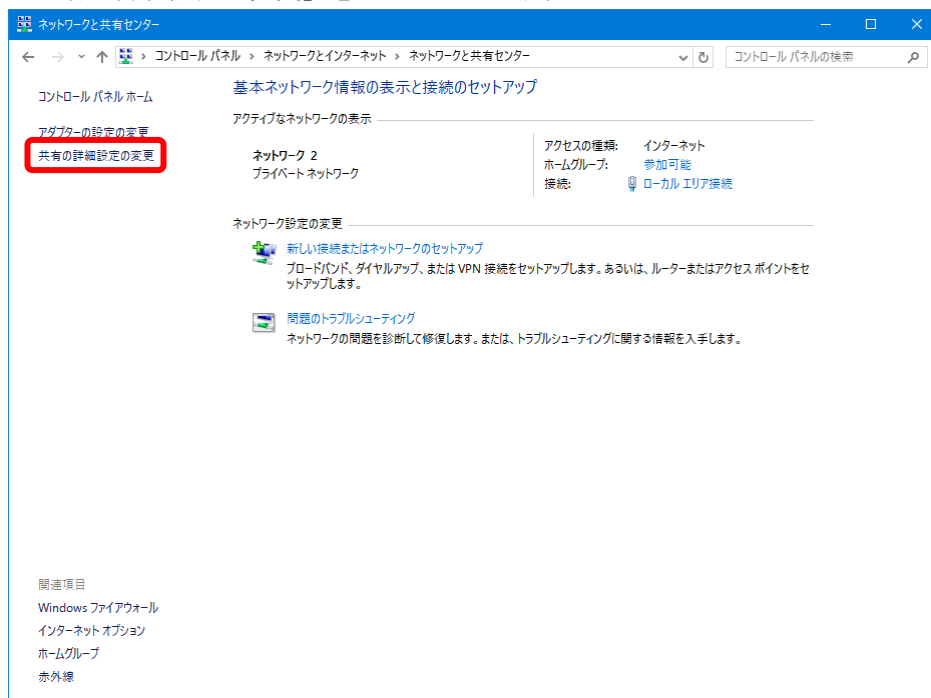
(2) 「コントロールパネル」をクリックします。



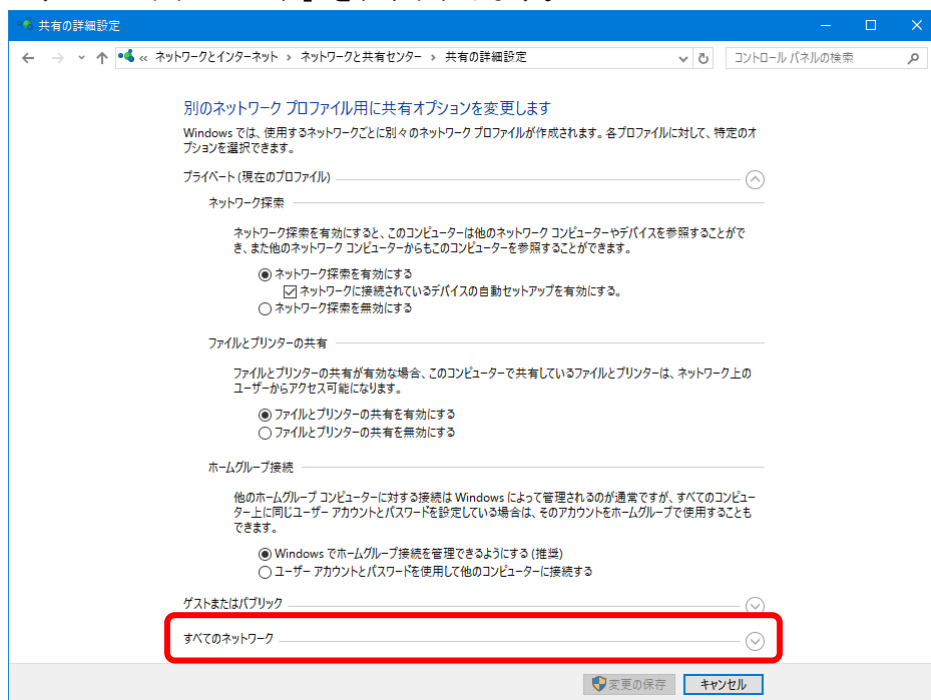
(3) 「ネットワークと共有センター」をクリックします。



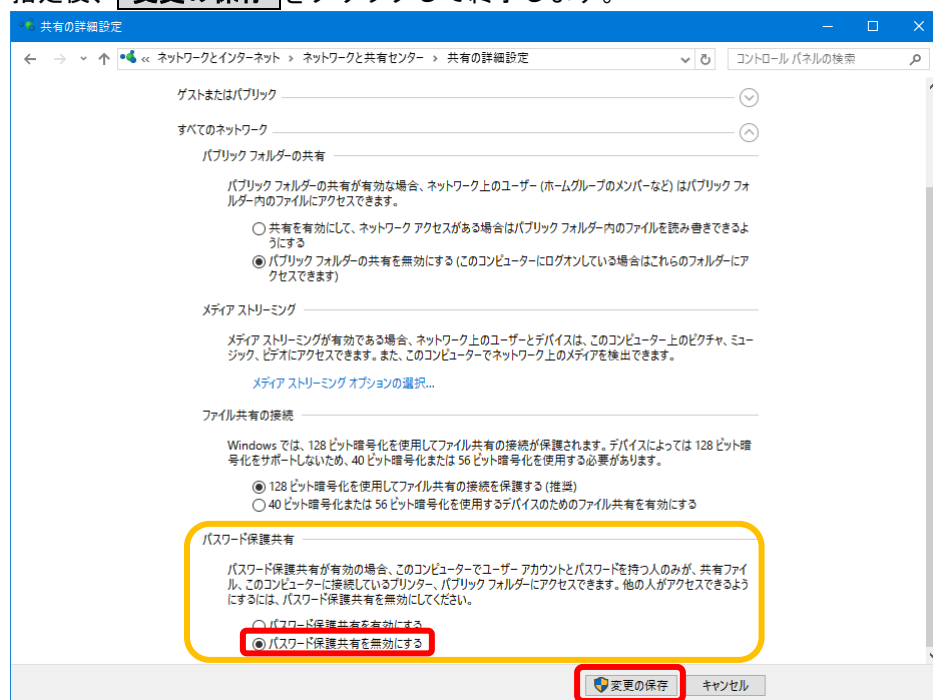
(4) 「共有の詳細設定の変更」をクリックします。




(5) 「すべてのネットワーク」をクリックします。

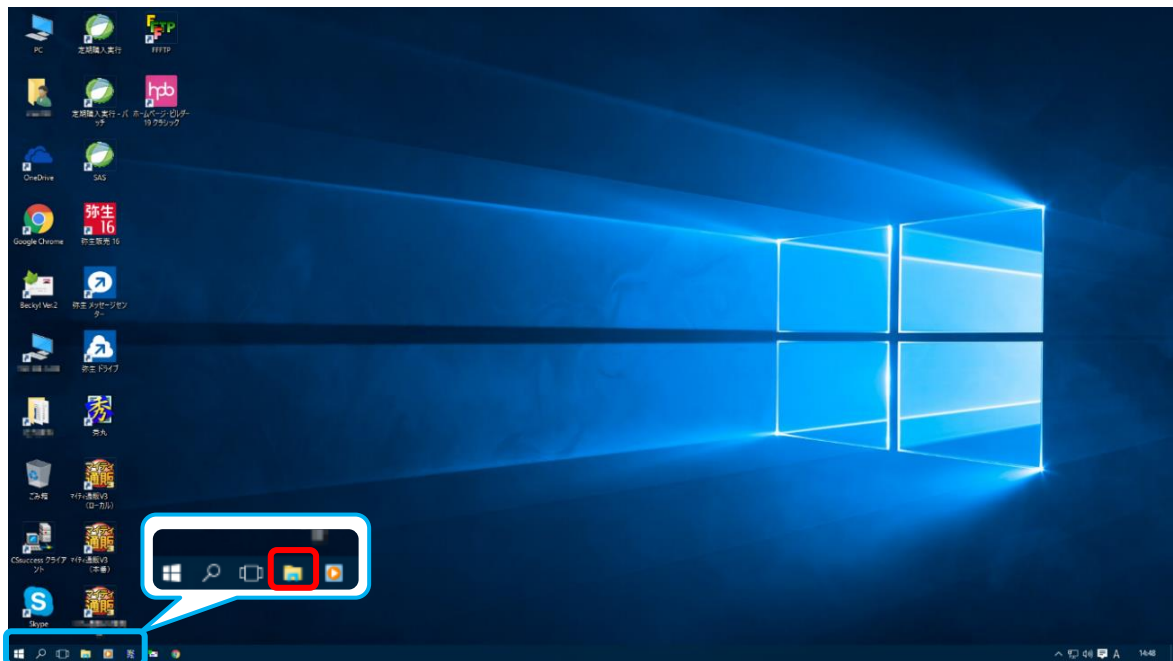


- (6) 「パスワード保護共有」の「☒パスワード保護共有を無効にする」を指定します。
指定後、**変更の保存**をクリックして終了します。

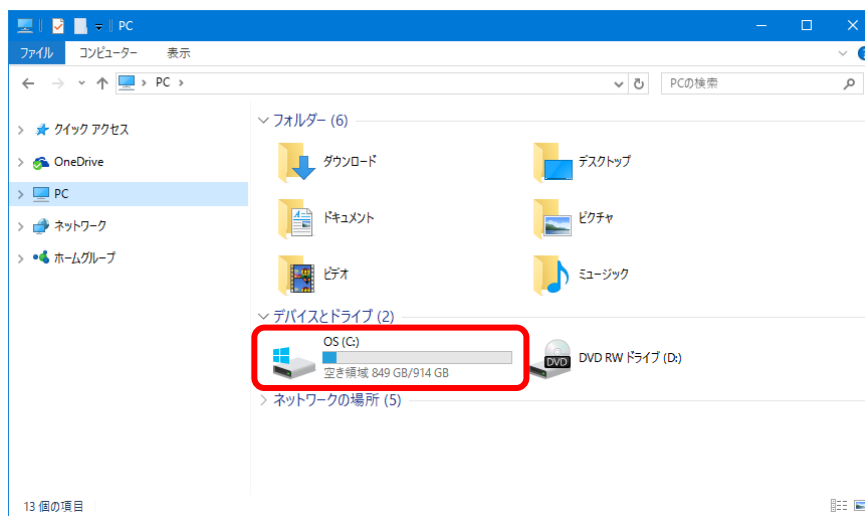


☆ フォルダの共有設定

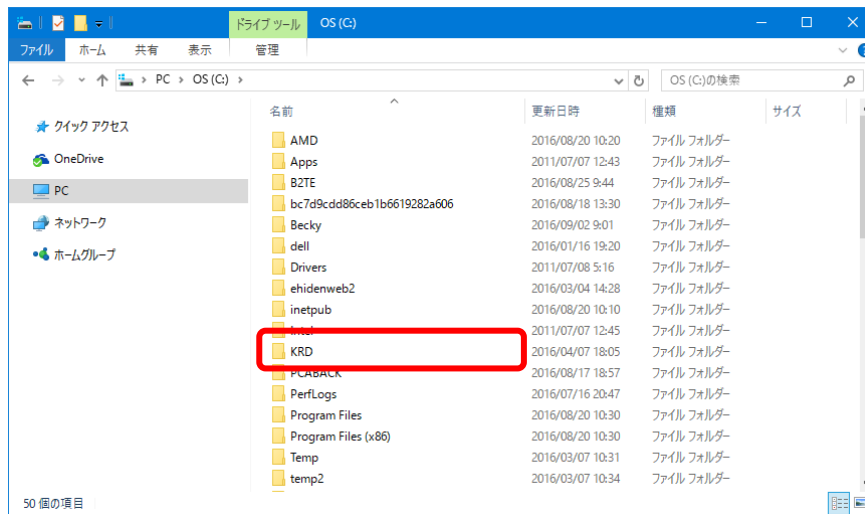
(1) エクスプローラーボタン () をクリックして、エクスプローラーを開きます。



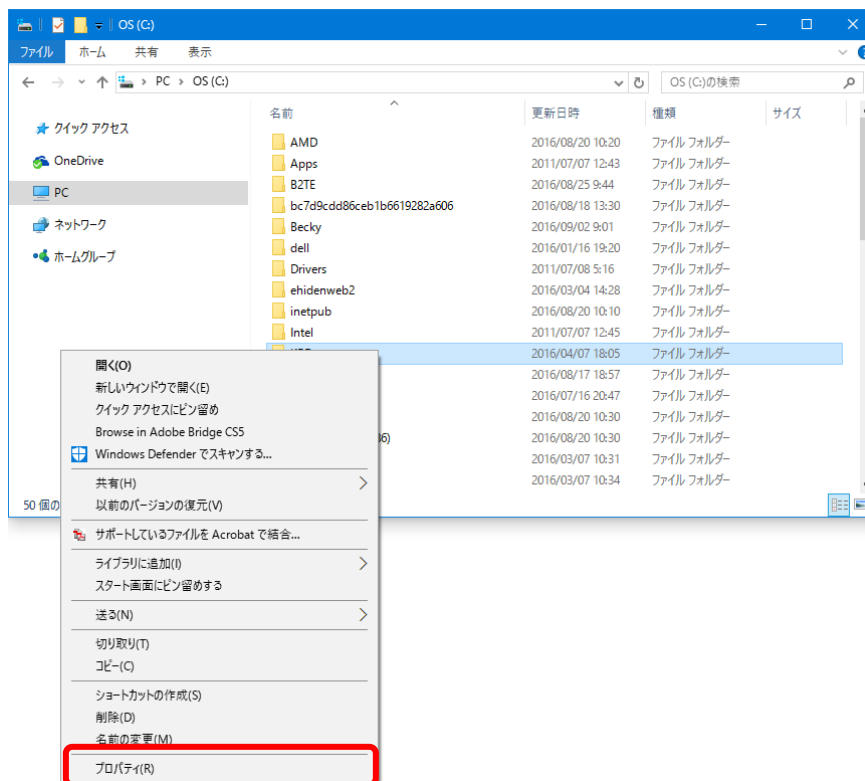
(2) 「OS (C:)」をクリックして、Cドライブを開きます。



(3) 「KRD」フォルダを右クリックします。




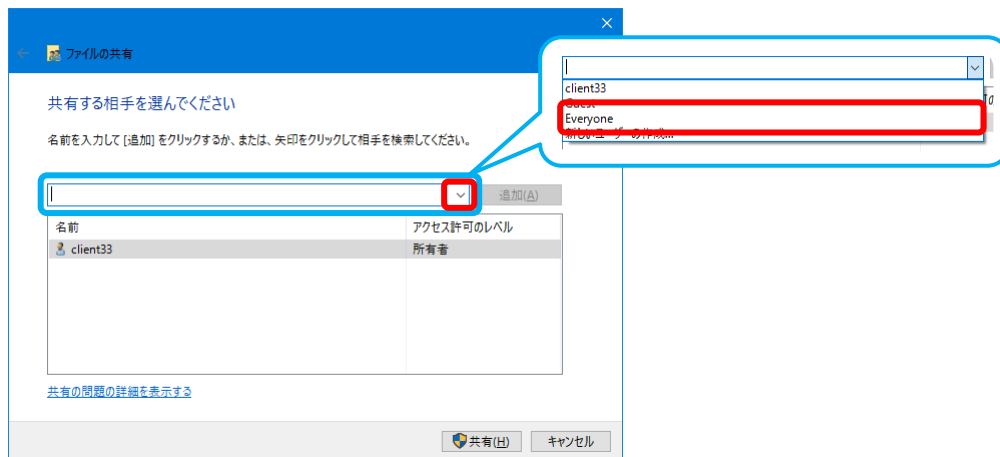
(4) プロパティ(R)をクリックして、「KRD」フォルダのプロパティを開きます。



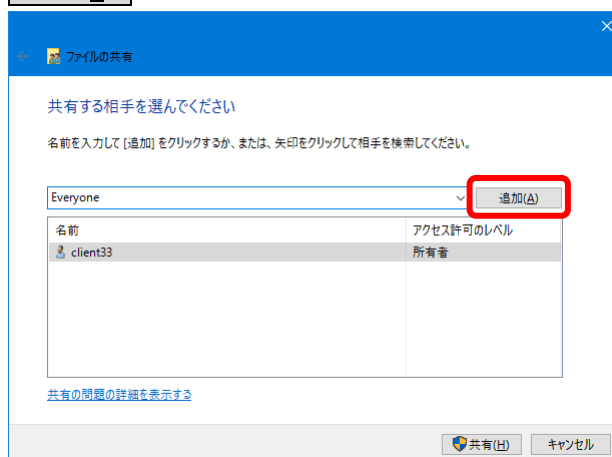
- (5) 「共有」 タブの **共有(S)...** をクリックします。



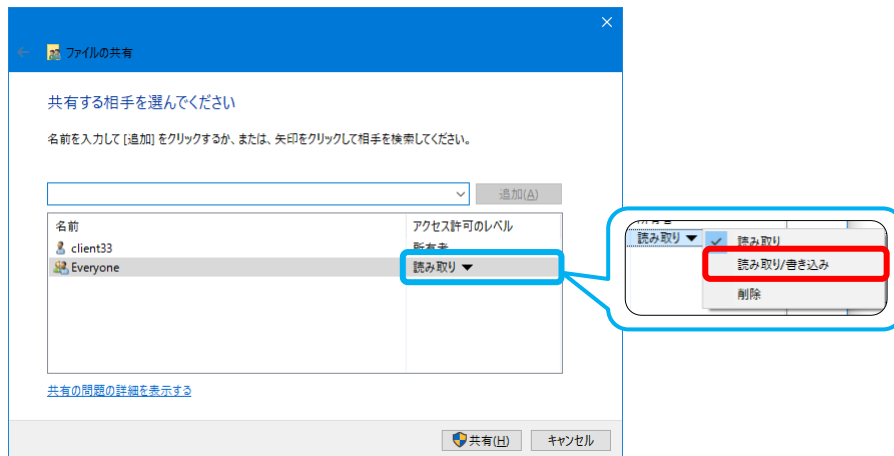
- (6) 名前入力欄の右にある  をクリックして、「Everyone」を選択します。



- (7) **追加(A)** をクリックします。



- (8) 追加した「Everyone」のアクセス許可のレベルを「読み取り/書き込み」にします。



- (9) **共有(H)**をクリックします。

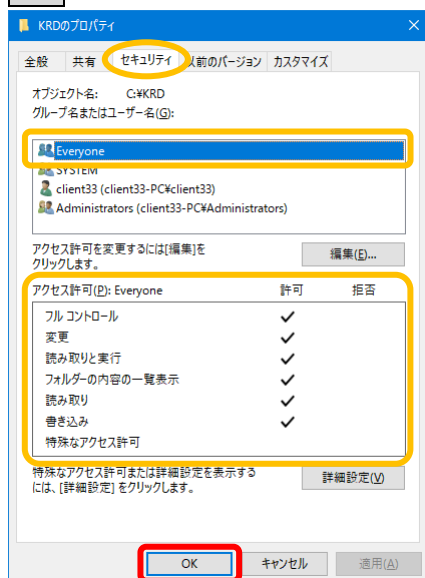


- (10) **終了(D)**をクリックして終了します。



- (11) 「KRD」フォルダのプロパティに戻って、
「セキュリティ」タブにて「Everyone」のアクセス許可設定を確認します。
「特殊なアクセス許可」以外にチェックがついていることを確認して、

OK をクリックして終了します。



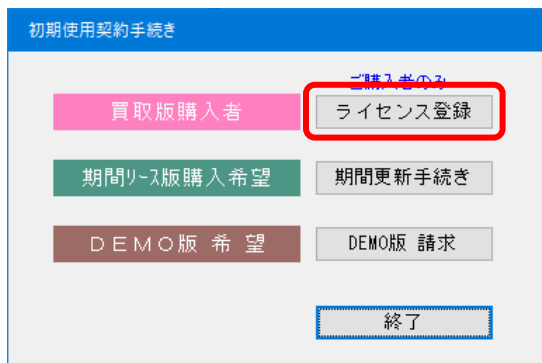
手順⑤ マイティ通信販売を初回起動した際のライセンス登録

マイティ通信販売をご利用いただく為にはライセンス登録をして頂く必要があります。

1台のみの場合か、複数ライセンス版の場合はサーバーでの作業で、各クライアントはサーバーのライセンス情報を参照しますので、個別にライセンス登録作業は不要です。

- (1) マイティ通信販売を初回起動時に以下のような画面が表示されますので、

ライセンス登録 をクリックします。



初期使用契約手続き

ご購入者の方へ

買取版購入者 ライセンス登録

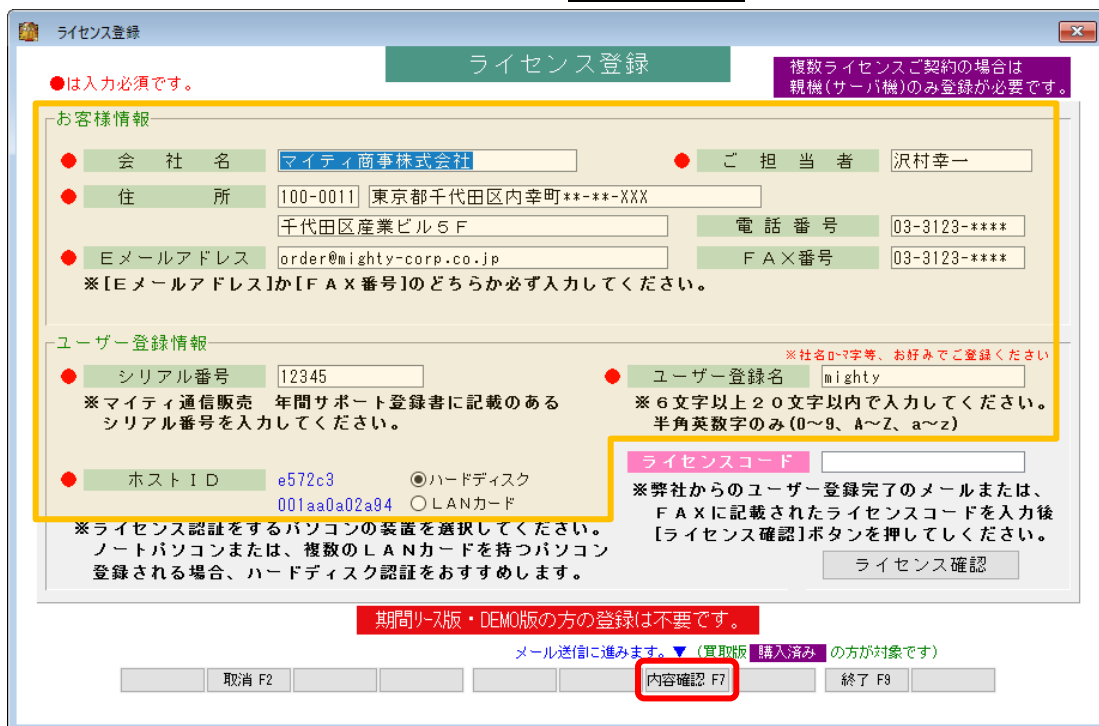
期間リース版購入希望 期間更新手続き

DEMO版希望 DEMO版請求

終了

- (2) ライセンス登録の画面が表示されますので、

ライセンスコード以外の必要事項を入力して、**内容確認 F7** をクリックします。



ライセンス登録

●は入力必須です。

複数ライセンスご契約の場合は親機(サーバー機)のみ登録が必要です。

お客様情報

● 会社名 マイティ商事株式会社 ● ご担当者 沢村幸一

● 住所 100-0011 東京都千代田区内幸町***-***-XXX
千代田区産業ビル5F 電話番号 03-3123-****

● Eメールアドレス order@mighty-corp.co.jp FAX番号 03-3123-****

※[Eメールアドレス]か[FAX番号]のどちらか必ず入力してください。

ユーザー登録情報

● シリアル番号 12345 ● ユーザー登録名 mighty

※マイティ通信販売 年間サポート登録書に記載のあるシリアル番号を入力してください。 ※社名0-9文字等、お好みでご登録ください

● ホストID e572c3 ● ライセンスコード

◎ハードディスク ○LANカード ※6文字以上20文字以内で入力してください。半角英数字のみ(0~9、A~Z、a~z)

※ライセンス認証をするパソコンの装置を選択してください。ノートパソコンまたは、複数のLANカードを持つパソコン登録される場合、ハードディスク認証をおすすめします。

※弊社からのユーザー登録完了のメールまたは、FAXに記載されたライセンスコードを入力後[ライセンス確認]ボタンを押してください。

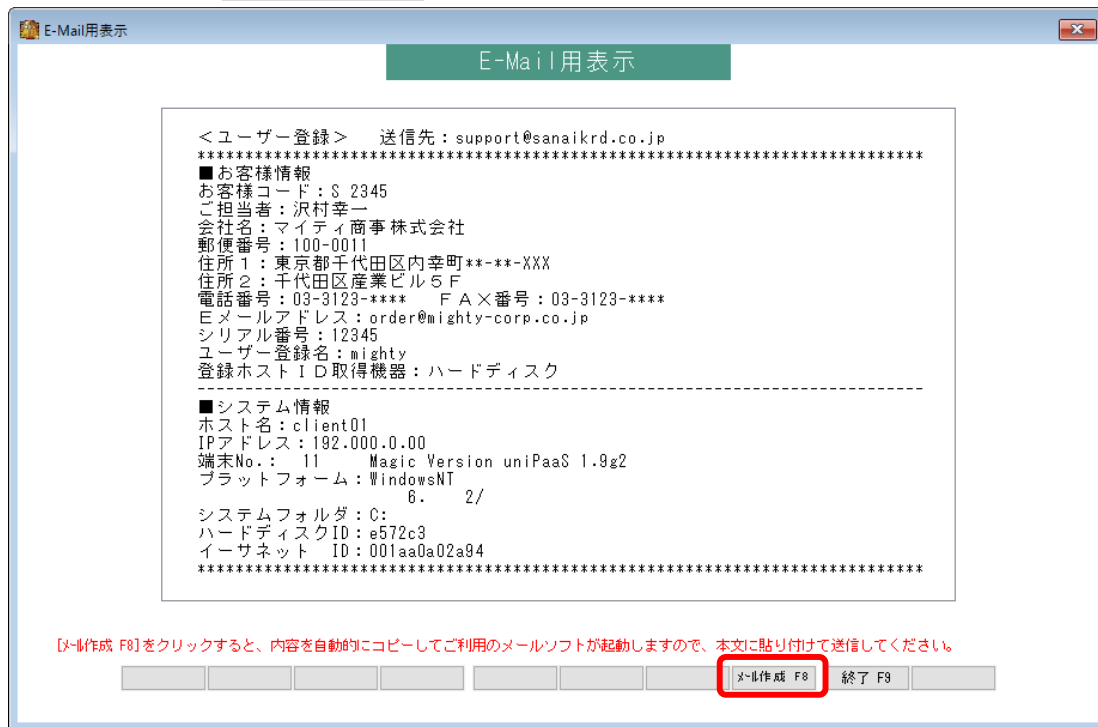
ライセンス確認

期間リース版・DEMO版の方の登録は不要です。

メール送信に進みます。▼(買取版 購入済みの方が対象です)

取消 F2 内容確認 F7 終了 F9

- (3) 内容を確認して、**メール作成 F8** をクリックします。



E-Mail用表示

<ユーザー登録> 送信先: support@sanaikrd.co.jp

■お客様情報

お客様コード: S 2345
 ご担当者: 沢村幸一
 会社名: マイティ商事株式会社
 郵便番号: 100-0011
 住所1: 東京都千代田区内幸町***-XX
 住所2: 千代田区産業ビル5F
 電話番号: 03-3123-**** F A X 番号: 03-3123-****
 Eメールアドレス: order@mighty-corp.co.jp
 シリアル番号: 12345
 ユーザー登録名: mighty
 登録ホストID取得機器: ハードディスク

■システム情報

ホスト名: client01
 IPアドレス: 192.000.0.00
 端末No.: 11 Magic Version uniPaaS 1.9g2
 プラットフォーム: WindowsNT 6. 2/
 システムフォルダ: C:
 ハードディスクID: e572c3
 イーサネット ID: 001aa0a02a94

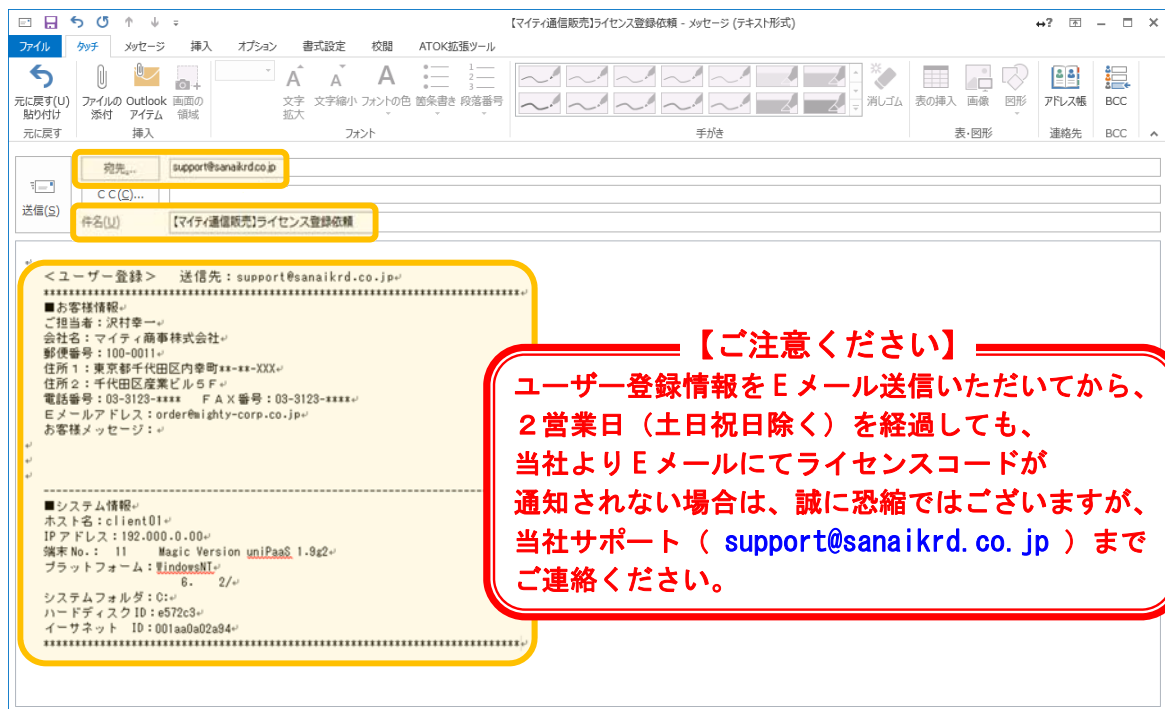
[メール作成 F8] をクリックすると、内容を自動的にコピーしてご利用のメールソフトが起動しますので、本文に貼り付けて送信してください。

[メール作成 F8] 終了 F9

- (4) すると、ライセンス登録内容が自動的にコピーされて、ご利用のメール専用ソフトが起動します。

- 本文に貼り付けて、当社サポート（support@sanaikrd.co.jp）宛にメール送信します。
 ※メール専用ソフトをインストールしていない場合は、コピーされたライセンス登録内容をメモ帳等に貼り付けて、メール送信してください。

この2つのどちらかの方法で、当社に「ライセンス登録の依頼」をしてください。



【ご注意ください】

ユーザー登録情報をEメール送信いただいてから、2営業日（土日祝日除く）を経過しても、当社よりEメールにてライセンスコードが通知されない場合は、誠に恐縮ではございますが、当社サポート（support@sanaikrd.co.jp）までご連絡ください。

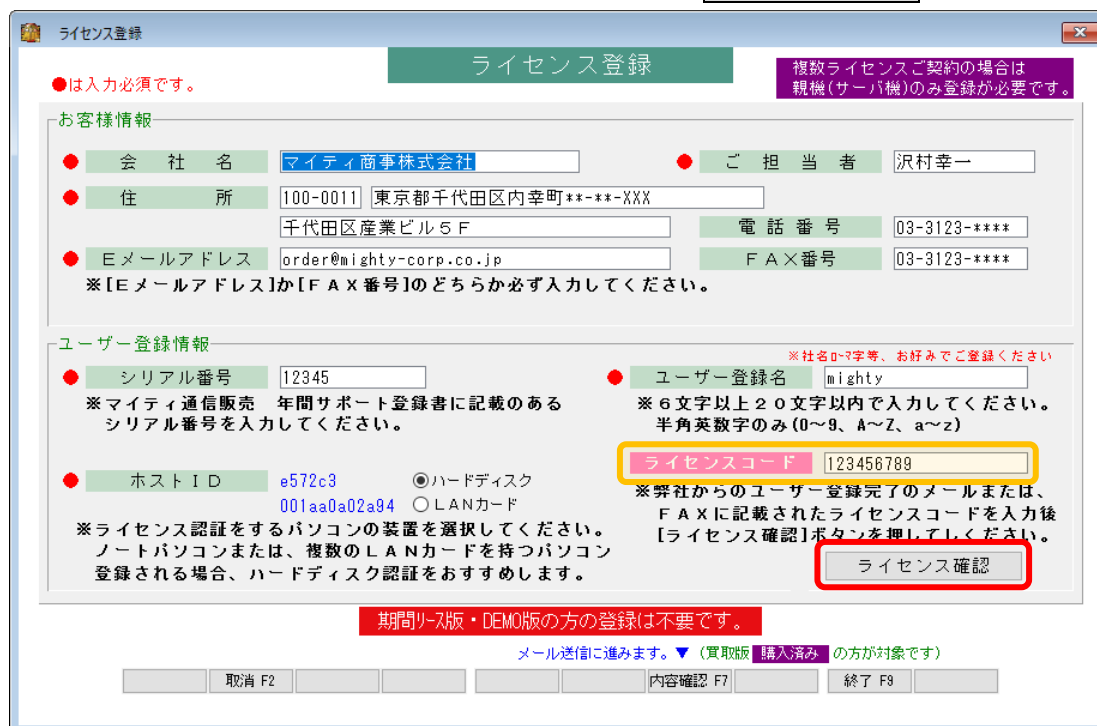
- 商品に同梱の「ユーザー登録兼ライセンス登録カード」に、「ライセンス登録」画面左下に表示された「**ホストID**」を正確に記入して、当社サポート（**072-627-7808 [FAX 専用]**）宛にFAX送信します。

● ホストID e572c3 ●ハードディスク
 001aa0a02a94 ○LANカード

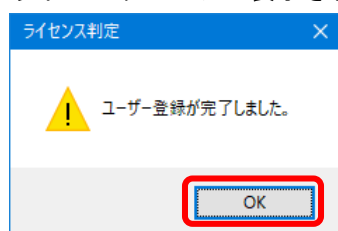
（「ライセンス登録」画面より）

改めて当社より、ライセンスコードをメールにてご案内致します。

- (5) 当社からのメール本文にあるライセンスコードを
マイティ通信販売の「ライセンス登録」画面に入力して、**ライセンス確認**をクリックします。



- (6) 以下のメッセージが表示されますので、**OK**をクリックします。



- (7) マイティ通信販売を再起動します。
再起動後、以下の画面が表示されないことを確認します。

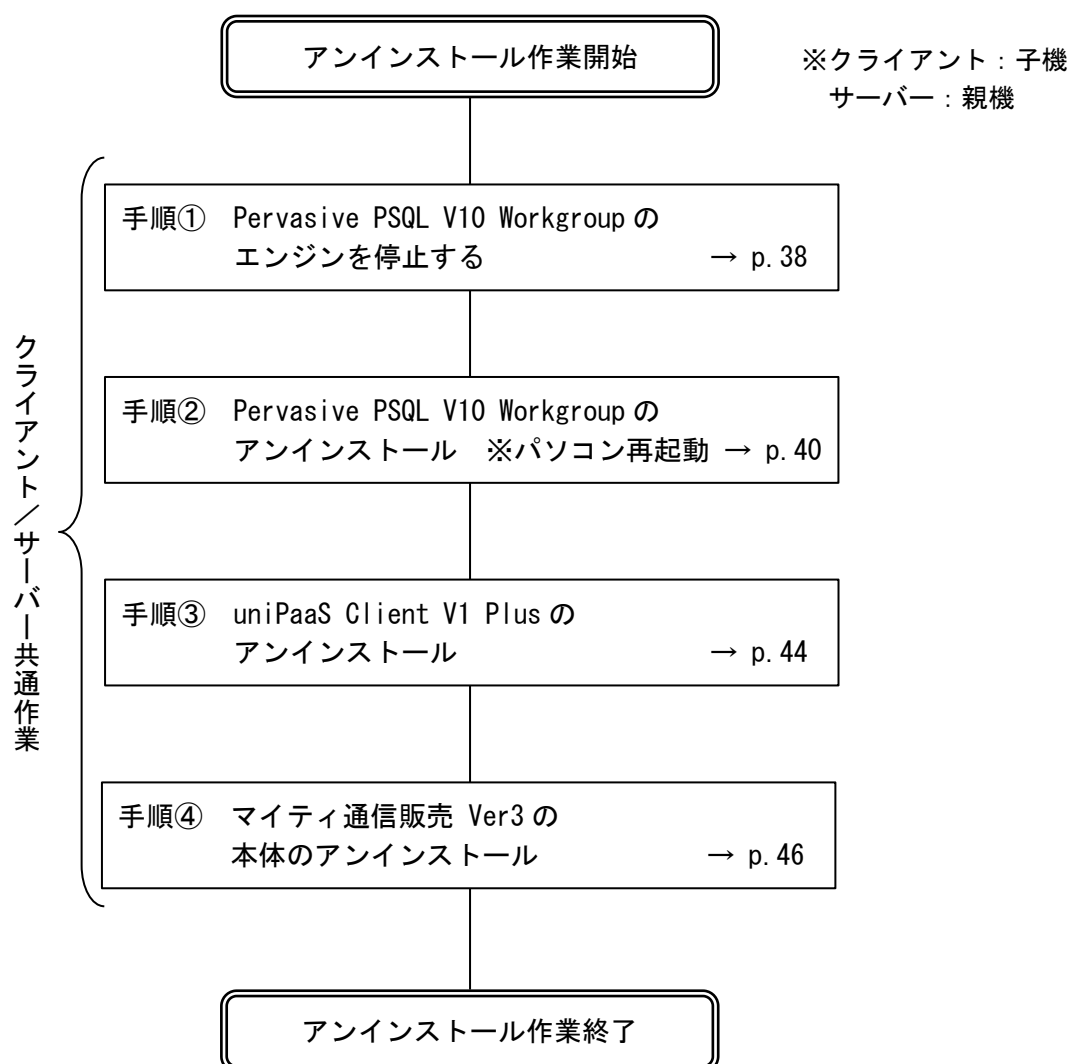


以上で、マイティ通信販売のライセンス登録は完了です。

登録したライセンス情報は、
「クイックメニュー → 「ヘルプ」の **4 バージョン情報** → **ライセンス確認**」にて
確認することができます。

アンインストール

マイティ通信販売は、当マニュアルに従ってアンインストールを行ってください。
大まかな作業の流れは以下の図の通りとなります。



👉 アンインストール手順


- 手順① Pervasive PSQL V10 Workgroup のエンジンを停止する
 手順② Pervasive PSQL V10 Workgroup のアンインストール
 手順③ uniPaaS Client V1 Plus のアンインストール
 手順④ マイティ通信販売 本体のアンインストール

手順① Pervasive PSQL V10 Workgroup のエンジンを停止する

マイティ通信販売をアンインストールする前に、運転中の Pervasive のワークグループのエンジンを停止します。

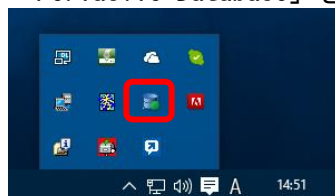
※ 2通りの方法があります。

方法 1

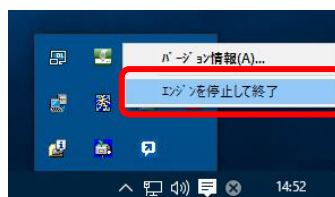
- (1) タスクバーの  をクリックして、隠れているインジケータを表示します。




- (2) 「Pervasive Database」を右クリックします。

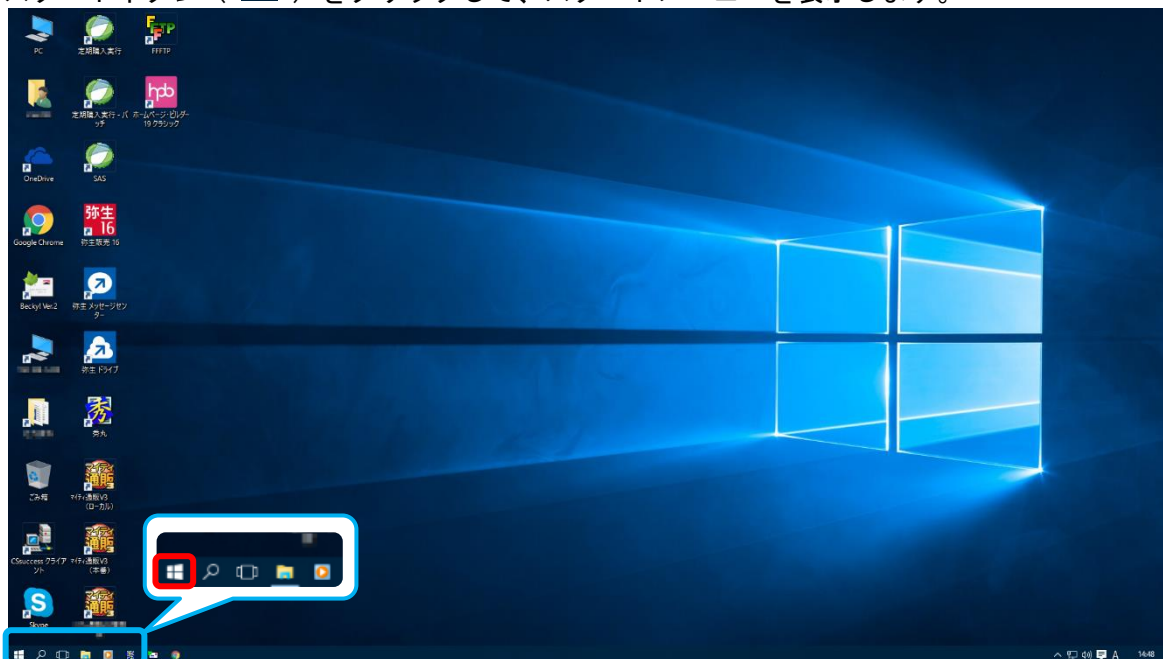


- (3) **エンジンを停止して終了** をクリックします。

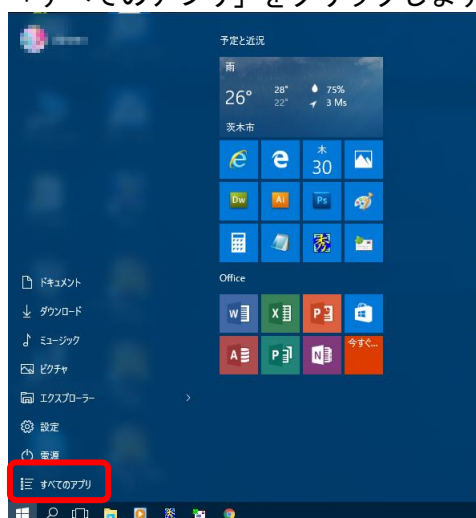


方法2

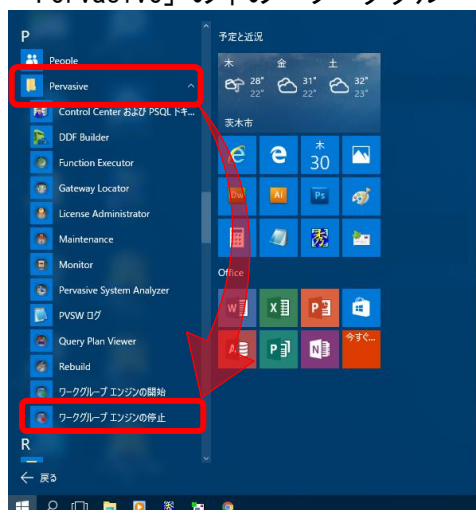
(1) スタートボタン () をクリックして、スタートメニューを表示します。



(2) 「すべてのアプリ」をクリックします。



(3) 「Pervasive」の中の「ワークグループ エンジンの停止」をクリックします。

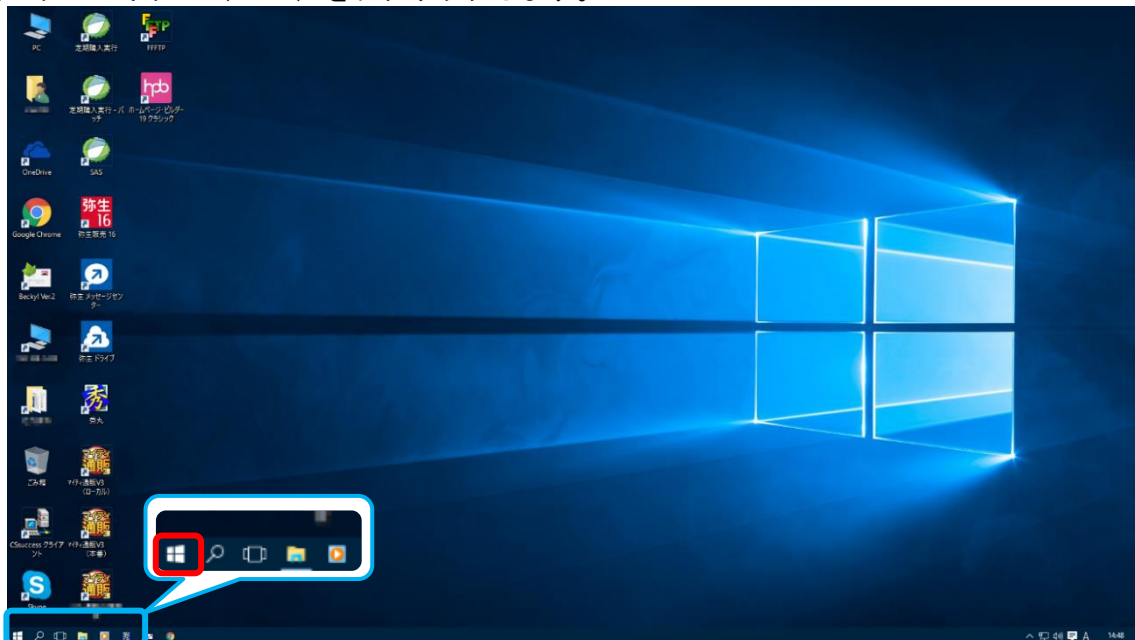


手順② Pervasive PSQL V10 Workgroup のアンインストール

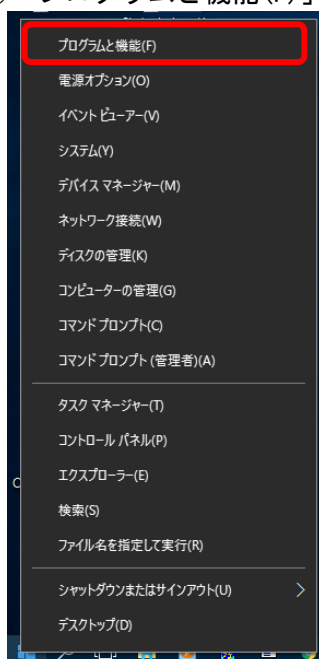
(1) コントロールパネルの「プログラムと機能」を開きます。

●Windows10 の場合

① スタートボタン () を右クリックします。

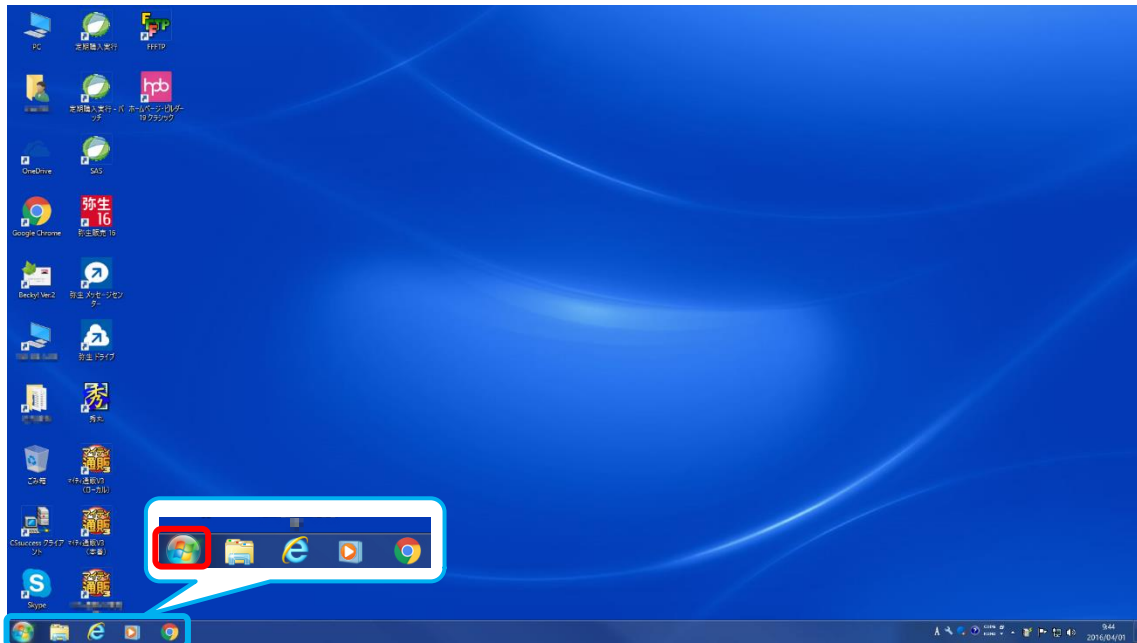


② 「プログラムと機能 (F)」をクリックします。

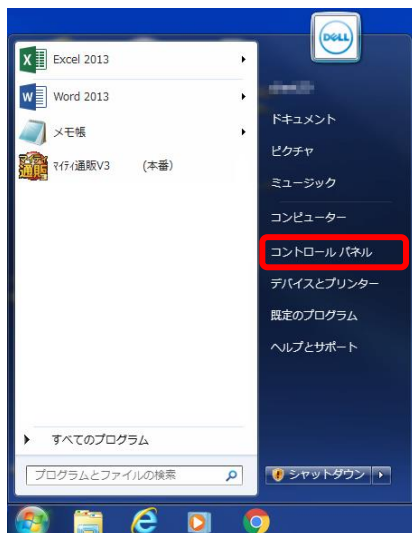


●Windows 7 の場合

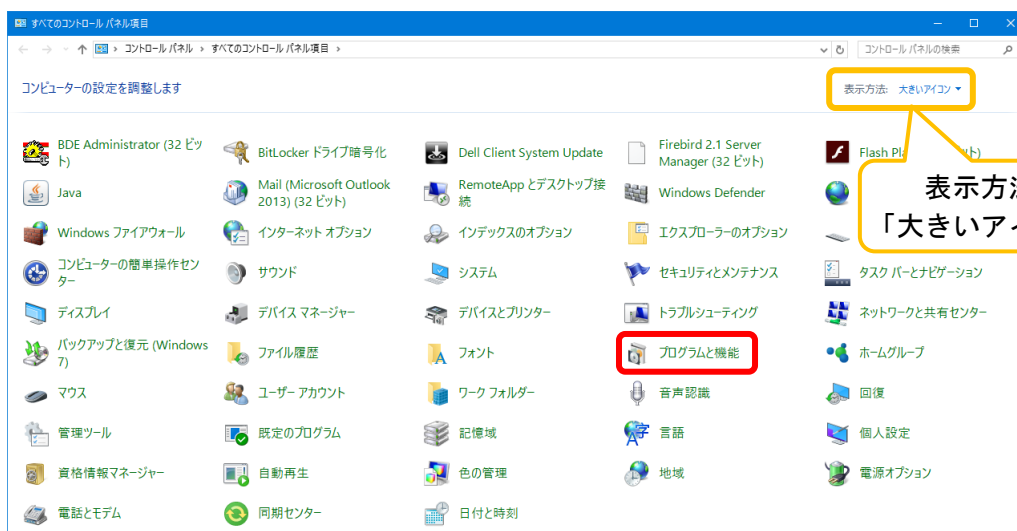
① スタートボタン () をクリックして、スタートメニューを表示します。



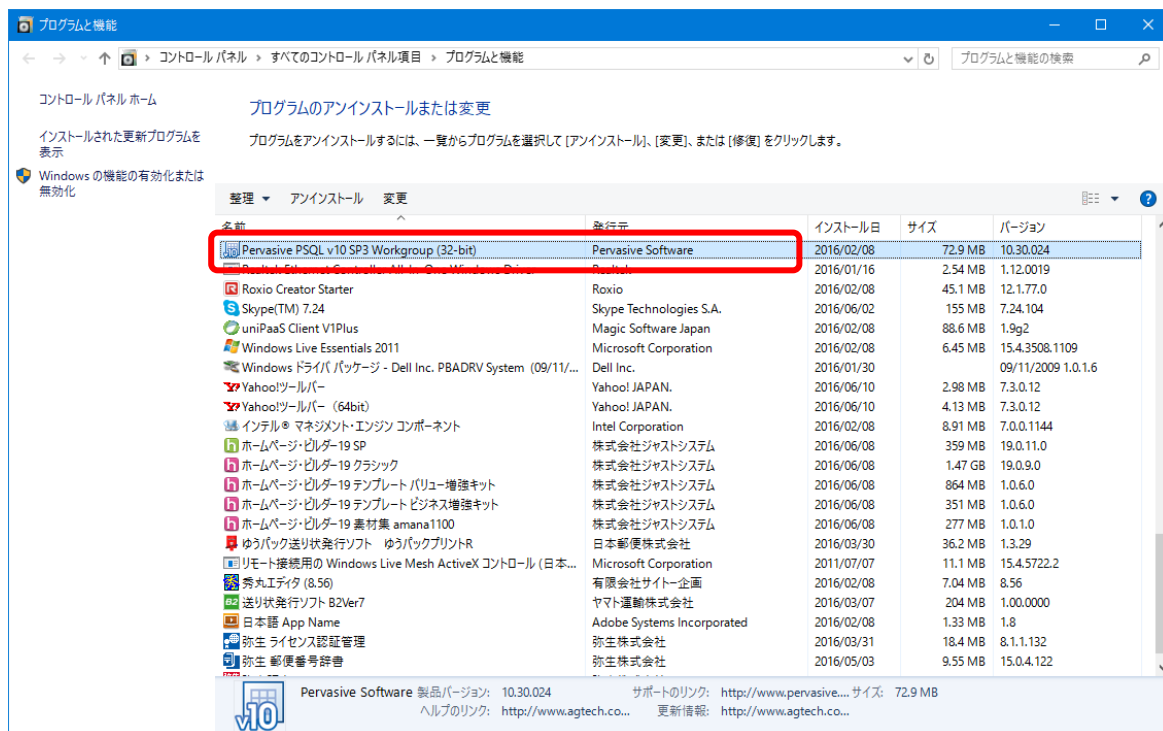
② 「コントロールパネル」をクリックします。



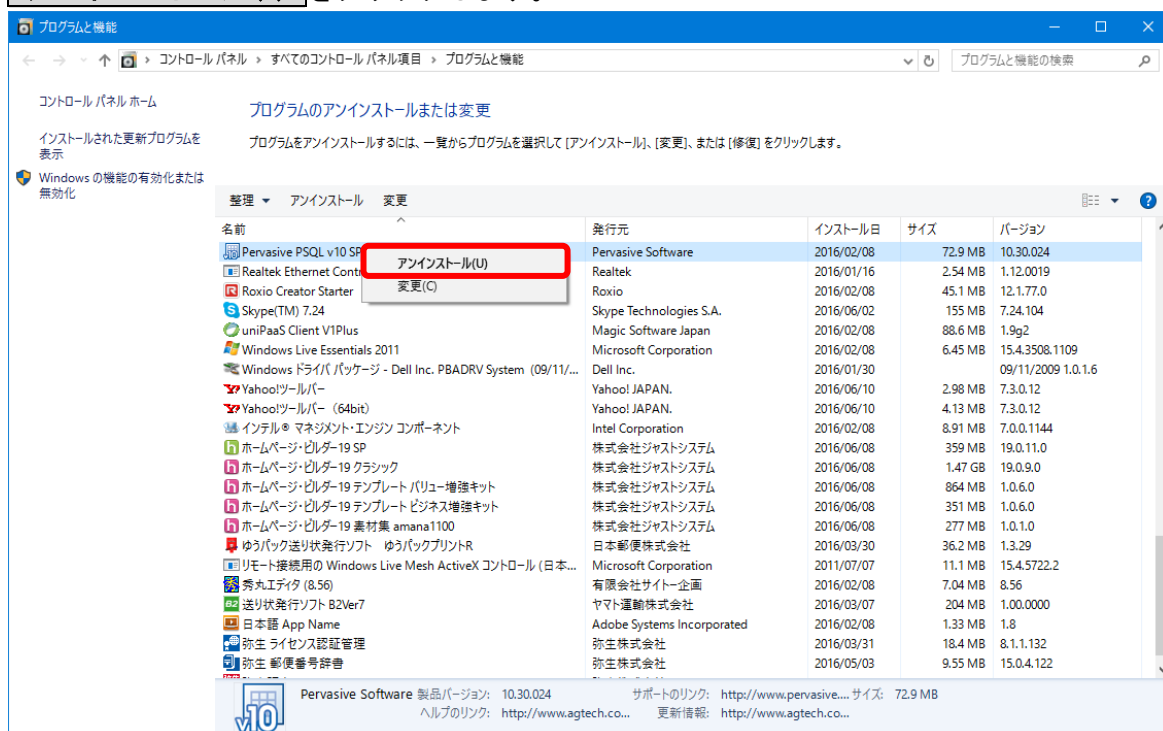
③ 「プログラムと機能」をクリックします。



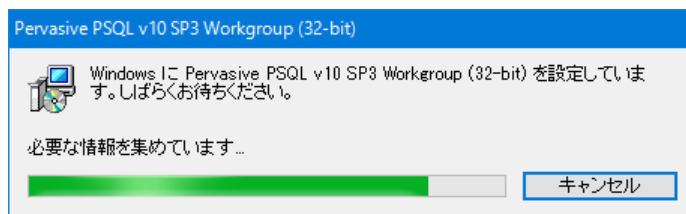
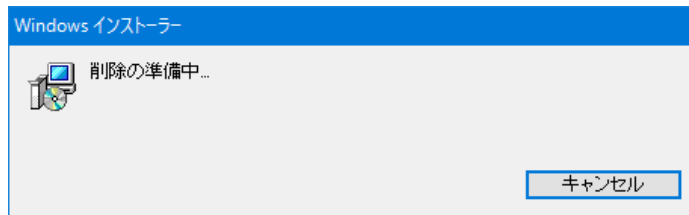
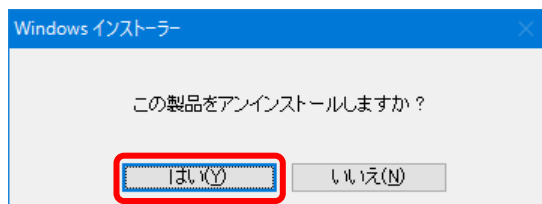
(2) 「Pervasive PSQL V10 Workgroup(32-bit)」を右クリックします。



(3) 「アンインストール(U)」をクリックします。



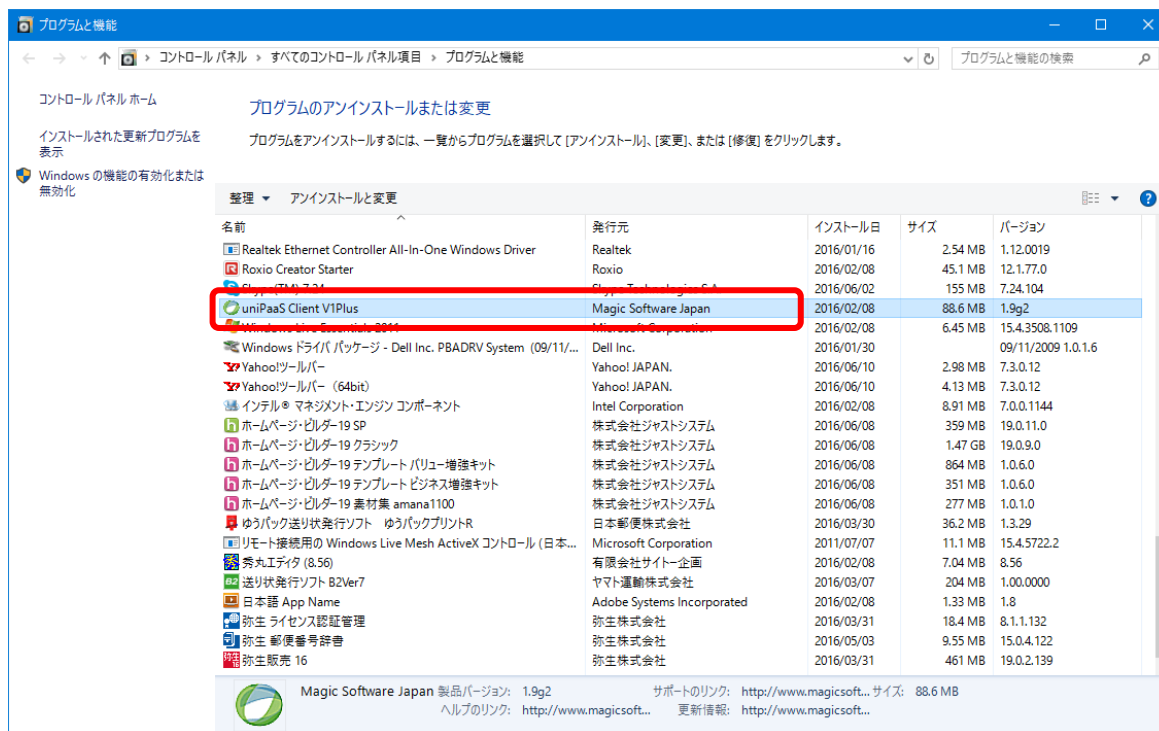
- (4) **はい(Y)** をクリックします。



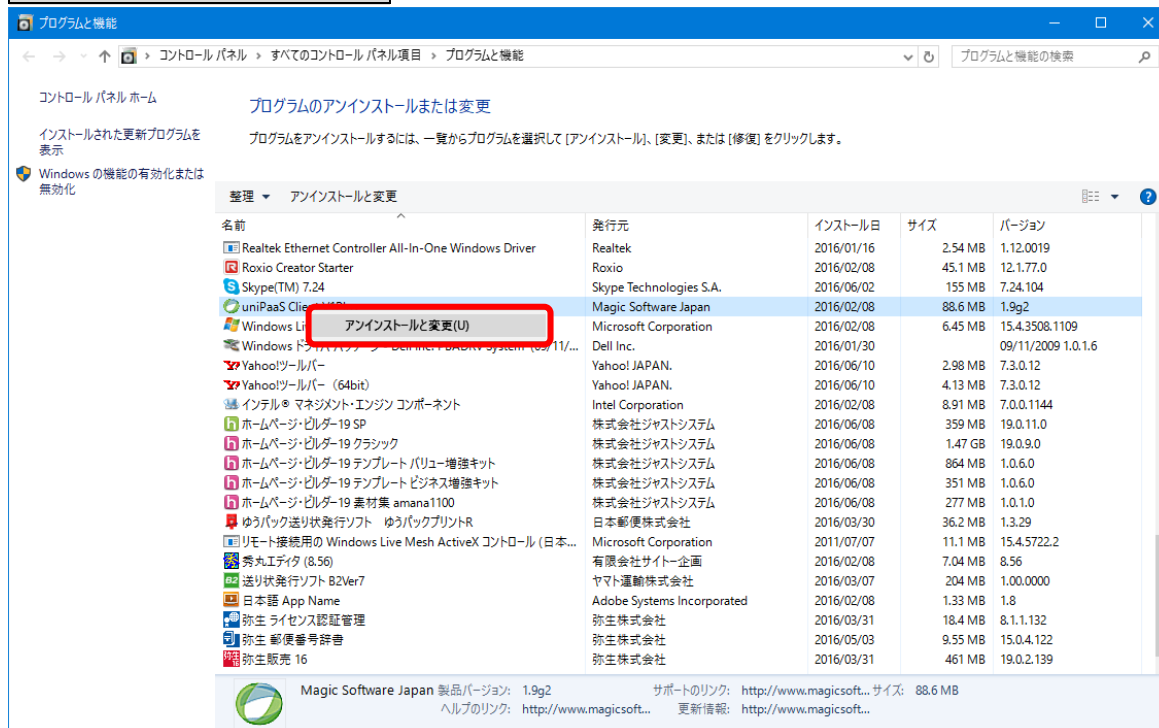
そのまま作業が完了しましたら、
 以上で、Pervasive PSQL V10 Workgroup のアンインストールは完了です。

手順③ uniPaaS Client V1 Plus のアンインストール

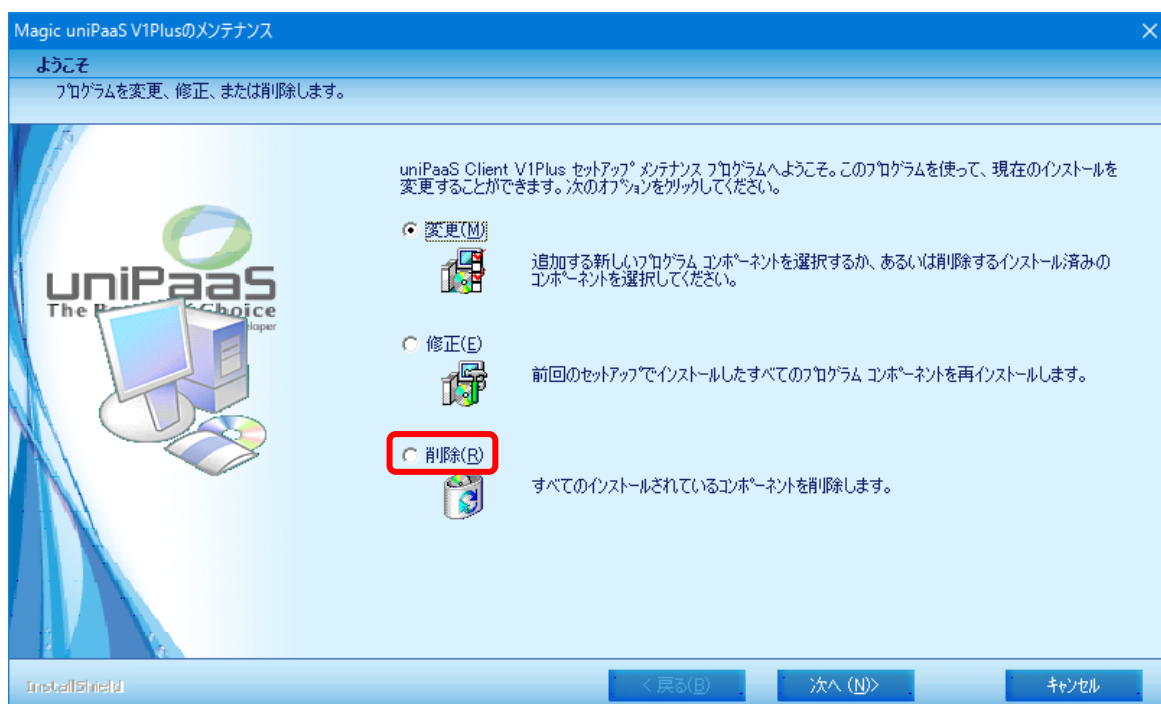
- (1) コントロールパネルの「プログラムと機能」画面にて、「uniPaaS Client V1Plus」を右クリックします。



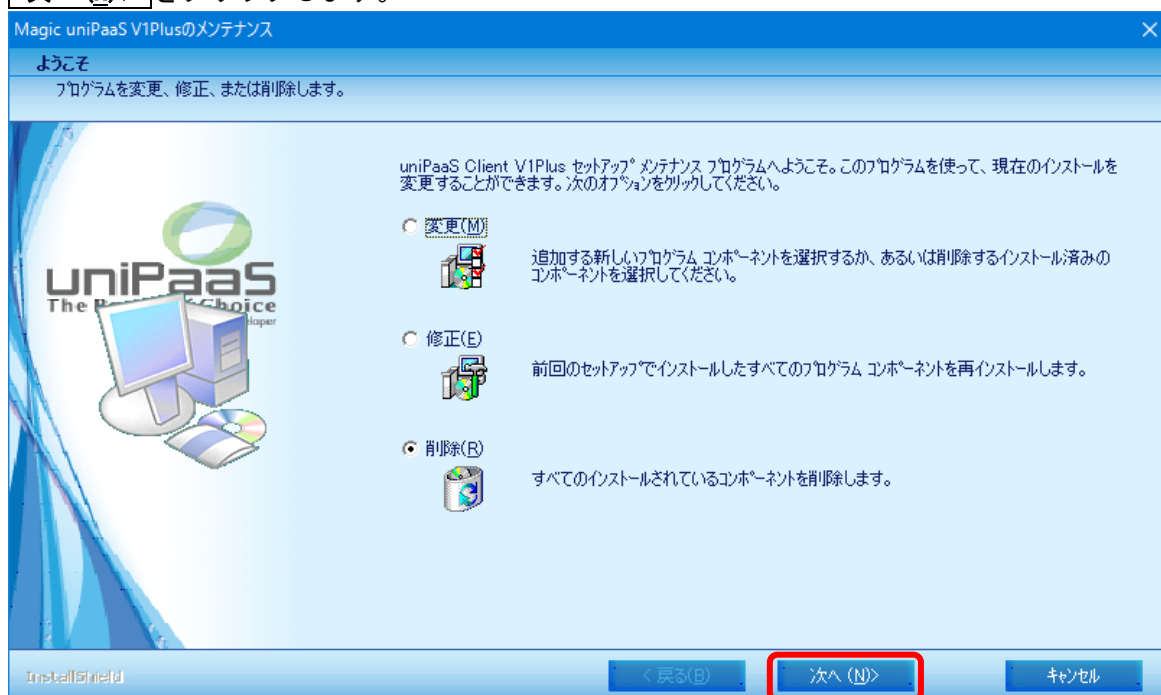
- (2) **アンインストールと変更(U)** をクリックします。



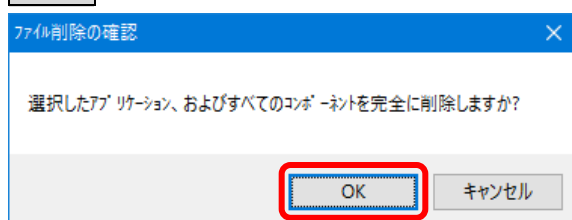
- (3) 「O削除(R)」を選択します。



- (4) 次へ (N)> をクリックします。



- (5) OK をクリックします。




以上で、uniPaaS Client V1 Plus のアンインストールは完了です。

手順④ マイティ通信販売 本体のアンインストール

※本体をアンインストールすると、

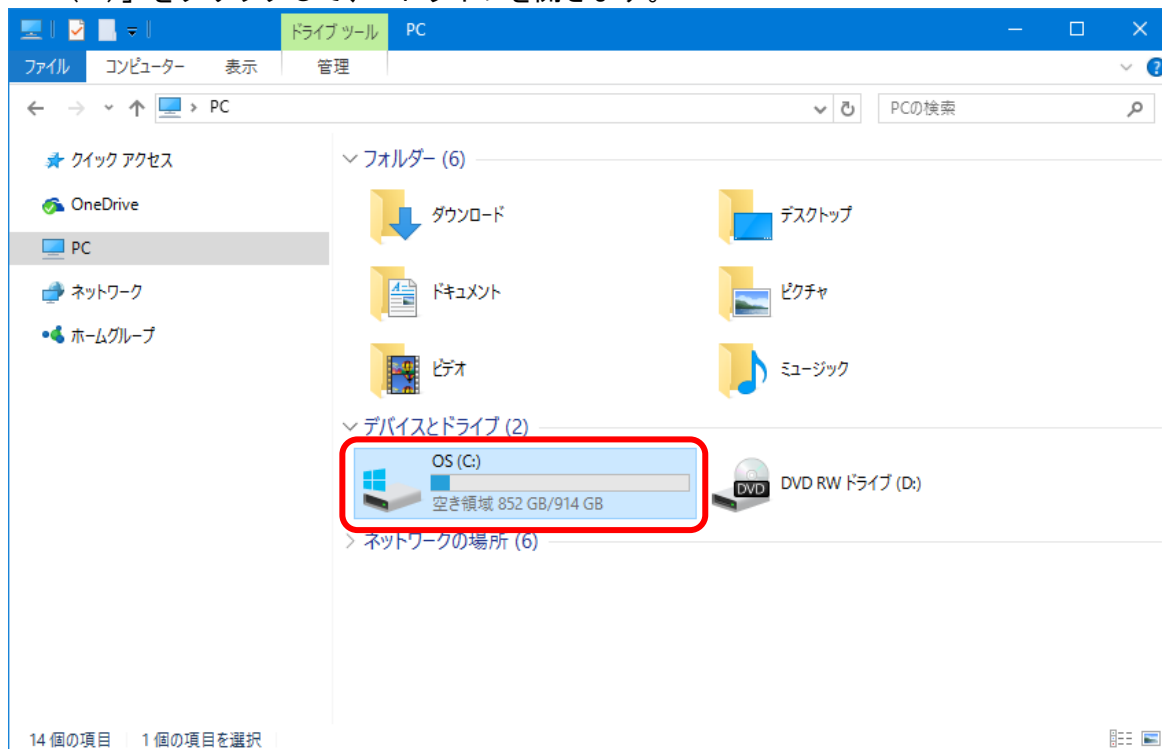
マイティ通信販売にて登録した受注データや各マスタデータは削除されます。

※別パソコンへの移行の場合は、アンインストールせずに移行先パソコンへコピーしてください。

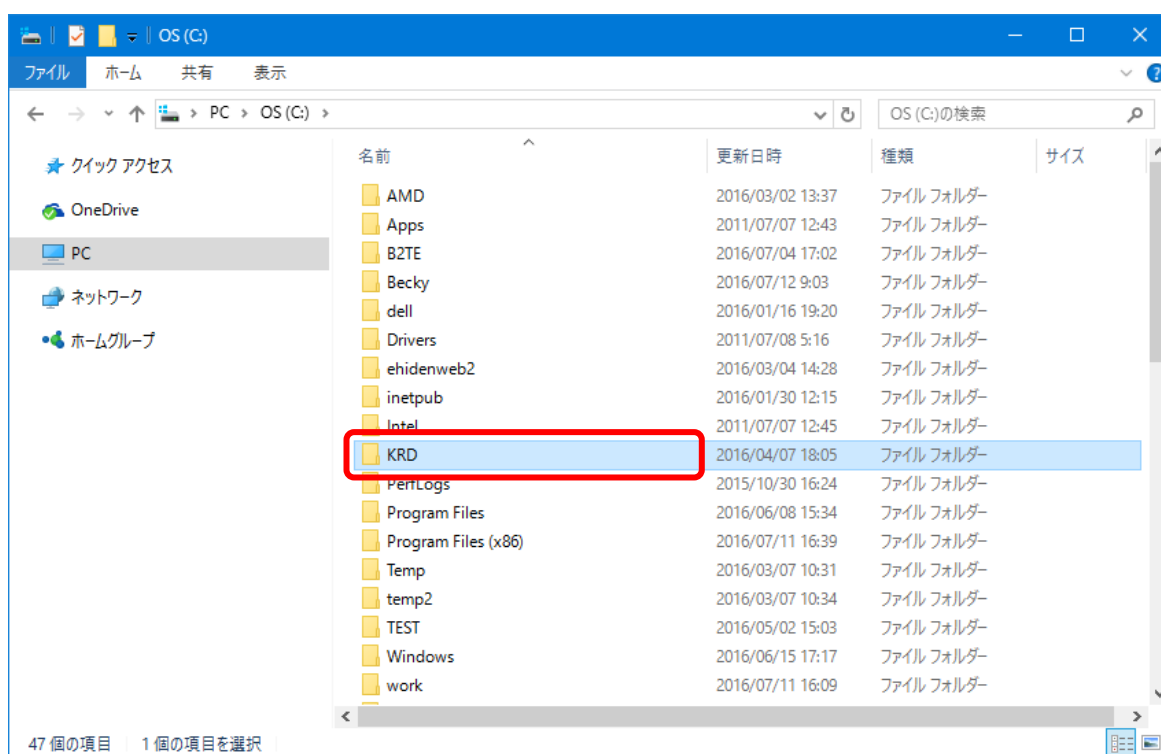
- (1) エクスプローラーボタン () をクリックして、エクスプローラーを開きます。



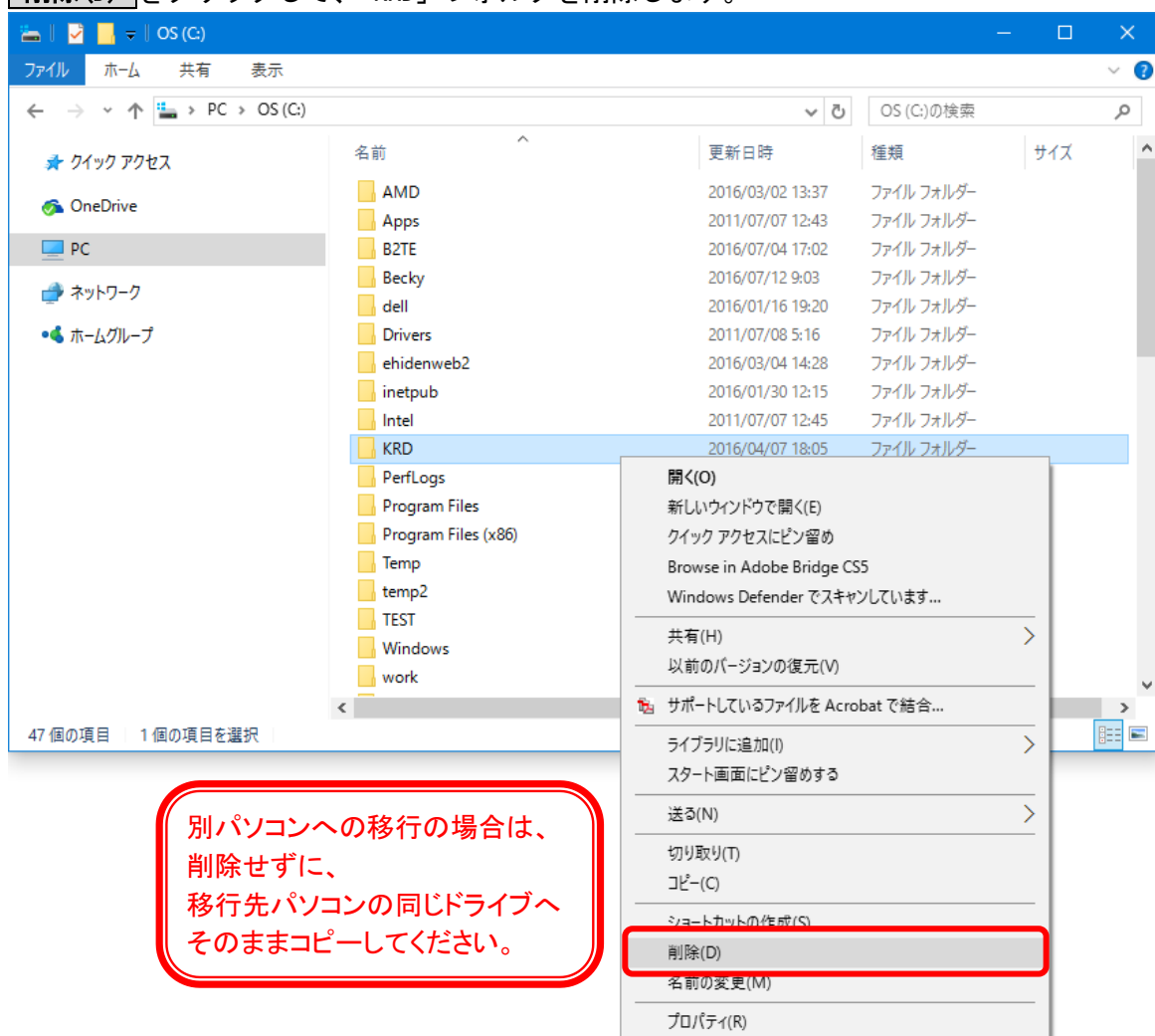
- (2) 「OS (C:)」をクリックして、Cドライブを開きます。



(3) 「KRD」フォルダを右クリックします。



(4) **削除(D)** をクリックして、「KRD」フォルダを削除します。



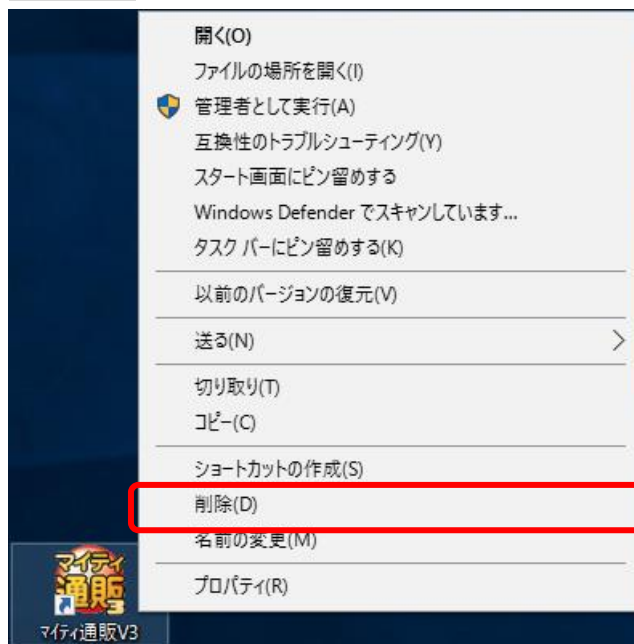
- (5) 最後に、デスクトップに作成している「マイティ通販 V3」のショートカットアイコンを削除します。

ショートカットアイコンを { ゴミ箱に入れます。[ゴミ箱 → 削除完了]
もしくは右クリックします。[右クリック → (6)に進む]



別パソコンへの移行の場合は、
削除せずに、移行先パソコンのデスクトップへ
そのままコピーしてください。

- (6) **削除(D)** をクリックします。



以上で、マイティ通信販売 Ver3 の本体のアンインストールは完了です。

ご不明な点がございましたら、当社までお問い合わせ願います。

ネットワーク初期導入サポートお問い合わせ先

電話：072-626-2786

Eメール：support@sanaikrd.co.jp

三愛ケーアールディ株式会社

◎ お電話受付時間 ◎

午前 9:00 ～ 午後 12:00

午後 1:00 ～ 午後 5:00

月曜日 ～ 金曜日

(土日祝日および弊社指定休日を除きます)